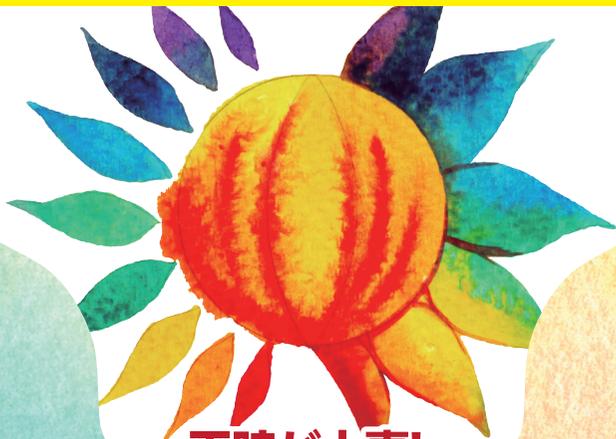




ポケットプログラム / Pocket Program

10周年記念大会  
第10回

日本公衆衛生看護学会学術集会



平時が大事!  
リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス

Stay watchful in health time!  
Positive health to prepare for risks,  
so as to protect LIFE

国際保健師ネットワークとの  
合同開催

The 10th Anniversary Jointly held  
with 6th International Conference of  
Global Network of Public Health Nursing

日時 / Date

2022年1月8・9日(土・日)  
January 8 - 9, 2022

開催形式

オンライン開催(大阪より)  
Virtual from Osaka, Japan

第10回日本公衆衛生看護学会学術集会  
学術集会長: 松本珠実(大阪市健康局健康推進部)  
10th JAPHN Chair/Tamami Matsumoto

オンデマンド配信期間 / Video On Demand

2022年1月4日(火) - 31日(月)  
January 4 - 31, 2022

主催 / Host

日本公衆衛生看護学会  
Japan Academy of Public Health Nursing

6th GNPHN(国際保健師ネットワーク学術集会)  
学術集会長: 岡本玲子(大阪大学大学院医学系研究科)  
6th GNPHN Chair/Reiko Okamoto

## 目次 Outline

---

ご挨拶・祝辞	1
オンライン開催についてのご案内	5
ライブ配信スケジュール	9
セレモニー一覧	11
プログラム 1月8日(土)	12
合同 メインプログラム	12
国内 メインプログラム	14
国際 メインプログラム	15
プログラム 1月9日(日)	16
合同 メインプログラム	16
国内 メインプログラム	17
国際 メインプログラム	18
優秀演題賞授賞式 (Awards Ceremony for Excellence)	19
10周年記念事業・企画展・広告動画	21
ワークショップ	22
一般演題 (国内)	26
人名索引	43
後援・協賛企業／団体ご芳名一覧	48
委員名簿	50
Presentation (国際)	53
Name Index	71
次回開催告知 (Next Conference)	75



# ご挨拶

この度、日本公衆衛生看護学会（JAPHN）第10回学術集会を、10周年記念大会として、国際保健師ネットワーク（GNPHN）の第6回学術集会と合同で、大阪よりオンラインにて開催させていただくことになりました。日程は、2022（令和4）年1月8日（土）・9日（日）、大会のテーマは、『平時が大事！リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス』です。

テーマに書いた「生」には、先人らの言葉から、「生命」「生活」「生産」「生きる権利」という意味を持たせています。人々の「生」を衛ること、それは保健師をはじめとする公衆衛生看護従事者が、最も根幹に据えている使命です。現実の世界には様々なリスクが潜んでおり、また突如勃発するリスクがあるのも事実です。だからこそ、平時から、リスクを予測し備えておくこと、しかもそれを「負をなくす」というネガティブ面ばかりに焦点をあてるのではなく、いつも「より正の方向へ」というポジティブ面に着目し、「みんなで」「ともに」「楽しく」を大事にして進めていく。これは、公衆衛生看護を担う私たちの専門性に他なりません。本学術集会では、あらためて、私たちの専門性を確認し、明日への英気を養えればと思います。

保健師をはじめとする公衆衛生看護従事者は、来る日も来る日も、ゆりかごから墓場まで、あらゆる状態・状況にある人々を対象に、より健康な方向を目指して、創意工夫の活動を展開してきた歴史があります。そして今も、私たちは、社会の変化に応じて活動を改善し続けており、それはこれからも絶えることはありません。そんな私たちが、自信と誇りをもって、人々の「生」を衛っていくために、本学術集会では、母子保健から健康危機管理まで幅広い分野を貫く「リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス」に焦点を当てたプログラムを準備いたしました。コロナ禍がつづき、オンラインでの開催となりますが、そのメリットを最大限生かし、みなさまにとって明日の糧となる収穫がありますことを、心より願っています。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

## 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会10周年記念大会

学術集会長：松本 珠実（大阪市健康局健康推進部）

副学術集会長：岡本 玲子（大阪大学大学院公衆衛生看護学教室）

## 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing (GNPHN)

学術集会長：岡本 玲子（大阪大学大学院公衆衛生看護学教室）

副学術集会長：松本 珠実（大阪市健康局健康推進部）

## ご挨拶

皆様、こんにちは。大阪大学総長の西尾章治郎です。本日は、第10回日本公衆衛生看護学会学術集会（10th Annual Conference of Japan Academy of Public Health Nursing）が、10周年記念大会として6th International Conference of Global Network of Public Health Nursingと合同で開催されるとのこと、誠にありがとうございます。アジア初のGNPHNカンファレンスのホストをOsaka University Graduate School of Medicine, Section of Public Health Nursingが担わせていただくということで、一言ご挨拶を申し上げます。



新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、本学術集会もオンラインにならざるを得なかったと伺っています。パンデミックという健康危機に直面し、この2年間、世界中のPublic Health Nursesと関連職種が、感染者への積極的疫学調査や、重症化予防、感染予防の啓発など、果敢に立ち向かって来られたことに、心より敬意を表します。

図らずも、社会の健康を守るためにPublic Health Nurseが必須であること、その存在価値が世の中に認知されることとなりました。日本では、政府も感染症・危機管理に関わる保健師数を2年間で1.5倍にする方針を決定したほか、新たにIHEAT: Infectious disease Health Emergency Assistance Teamを全国的に組織し人材育成を急いでいる状況です。

さて、大阪大学は、数ある国立大学の中でも市民が創設した学び舎「懐徳堂」「適塾」を源流に持ち、市民感覚重視の気風がある大学です。大阪大学憲章では、「大阪大学は、教育研究活動を通じて、『地域に生き世界に伸びる』をモットーとして、社会の安寧と福祉、世界平和、人類と自然環境の調和に貢献する」と掲げています。今般のコロナ禍において、保健所や保健センターと協働してきた、Section of Public Health Nursingの活動は、まさにこれを具現化するものでした。

この間、私は、社会全体の健康を脅かすどんな危機にも応じ、人々のQOLの向上のために、忍耐強く社会変革に貢献し続けるのが公衆衛生看護であると理解しました。そして、本学術集会が、各国の参加者同士の共創（Co-creation）を通して、地域から世界全体に及ぶさまざまな課題の解決に貢献する、さらなる学術的成果を創出することを信じています。

結びにあたり、本学術集会の成功をお祈りするとともに、ご参加の皆様にとりまして実り多いものなることを期待いたしまして、ご挨拶にかえさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。

令和4年1月4日

大阪大学総長 西尾 章治郎

# 祝辞

新年明けましておめでとうございます。

第10回日本公衆衛生看護学会学術集会、6th Global Network of Public Health Nursing学術集会が開催されますこと、心からお祝いを申し上げます。

さて、日本公衆衛生看護学会学術集会におかれましては、平成24年の設立以来、公衆衛生看護の学術的発展と、研究・教育及び活動の向上と推進を目指し、もって国民の健康増進と社会の安寧に寄与するという目的のもと活動に尽力されておられますことに、敬意を表します。

また、新型コロナウイルス感染症にかかる積極的疫学調査については保健所の体制強化に多大なご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

第6回の同学会はこちら大阪で開催され、大盛況であったと聞いておりますが、今回は10周年記念及び6回目の国際学術集会との合同開催の運びとなり、世界中で新型コロナウイルス感染症対策に従事する保健師をはじめとする公衆衛生に携わる実践者の方々がオンラインで集まり、その歴史に大きな足跡を残す学術集会となりました。

両学会の関係者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、多忙を極める中での準備、調整に相当のご苦勞をされたことと存じます。

この学術集会で「平時が大事！リスクに備え「生」を衛るポジティブヘルス」をテーマに、公衆衛生看護の様々な分野でご活躍されている皆さまが一同に会し、研究成果や実践活動の発表、情報交換を行っていただくことで、今日、多様化・複雑化する公衆衛生看護分野の課題への取り組みが促進され、住民の方々の健康増進、健康障害の予防と回復がすすみ、さらなる安全・安心の確保につながっていくものと期待しております。

大阪府では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに2025年大阪・関西万博を開催します。これからの新たな未来を切り拓くシンボルイベントであり、大阪府においては、この万博の成功に向け、着実に準備を進めてまいります。また、同時に、世界の課題解決に貢献する「SDGs先進都市」をめざす取組も加速させてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この学術集会のご成功と日本公衆衛生看護学会学術集会の益々のご発展、あわせて本日お集まりの皆さま方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年1月4日

大阪府知事 吉村 洋文



# 祝辞

日本公衆衛生看護学会の記念すべき第10回学術集会在、第6回国際保健師ネットワーク学術集会とともに、ここ大阪で開催され、国内外に向けて発信されますことを、喜ばしく思います。

2020年より、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう中、各学会の方々には、公衆衛生の最前線で、全身全霊を以て対策・対応に当たり、その役割を果たして来られましたことに深謝申し上げます。

「日本公衆衛生看護学会」におかれましては、その目的である、国民の健康増進や公衆衛生看護の学術的発展と、研究・教育及び活動の推進を通じて、公衆衛生看護学、保健師活動の研究・推進等の活動に邁進され、年々、発展してこられました。また、「国際保健師ネットワーク」におかれましては、世界中の保健師の実践を発展させることを支援するために設立され、各国の知見と公衆衛生看護の実践を共有し、学術集会を通じて発展されて来られたと聞き及んでおります。これらはひとえに、麻原きよみ日本公衆衛生看護学会理事長、Linda Smith議長をはじめ、会員、関係者の皆様の御尽力と熱意の賜物と敬意を表します。

さて、今回の合同学術集会は、「平時が大事！リスクに備え「生」を衛（まも）るポジティブヘルス」をテーマに、ポジティブな公衆衛生看護活動を支える理論や技術、2019年12月から全世界に甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症をはじめとする健康危機管理の在り方などについて多くの講演や発表が準備されているとお聞きしております。今回の学術集会在、皆様にとって、学びの多い集会となられるよう祈念しております。

本市におきましても、市民の命を守ることを最優先事項とし、新型コロナウイルス感染症対策では、医療・保健所体制の整備、ワクチン接種、他自治体との連携等、迅速かつ効果的な対策に向けて、最大限、取り組んでいるところです。また、国民健康づくり運動「すこやか大阪21」では、市民の健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病対策や歯周病疾患の予防対策、こころの健康増進などを推進しています。

2025年には大阪で万国博覧会が開催されます。「いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）」をメインテーマにしておりますが、赤ちゃんから高齢者までを対象とした、いのちを救う（Saving Lives）、いのちに力を与える（Empowering Lives）、いのちをつなぐ（Connecting Lives）というサブテーマは、まさに公衆衛生看護の基本的考え方に共通するところです。是非、皆様に会場にお越しいただき、活気ある商業都市で、美味しい食も味わっていただきたいと思います。

結びに、本学術集会の盛会と、両学会の、今後ますますのご発展、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。祝辞とさせていただきます。

令和4年1月4日

大阪市長 松井 一郎



# オンライン開催についてのご案内

本学術集会はオンライン開催（Web上での開催）となります。現地開催はありません。

## 参加登録期間（国内学会・国際学会共通）

【一般】 2021年12月1日(水)～2022年1月18日(火)

## 学術集会参加費

### 【国内学会】

参加登録種別	一般
会員	11,000円
非会員	12,000円
学生(院生除く)	3,000円

### 【国際学会】

参加登録種別	一般
GNPHN会員	25,000円
GNPHN非会員	35,000円
途上国	12,000円

- 1) 国内学会・国際学会の合同企画には参加者はどなたでもご参加いただけます。
- 2) 国際学会参加者のみが参加できるプログラムがあります。
- 3) 国際学会参加者は国内学会のすべてのプログラムに参加できます。
- 4) プログラムは、2022年1月4日から31日まで、オンデマンドで視聴できます。
- 5) 国際学会に「GNPHN会員」で参加登録する場合、現在会員でない方は、GNPHNの入会（正会員60ドル 7千円弱、学生15ドル 1700円弱）が必要です。国内学会参加の場合も、会員で参加する場合、日本公衆衛生看護学会への入会（正会員1万円、学生5千円）が必要です。
- 6) 国内学会から国際学会の参加に変更したい場合は、差額を支払うことで変更可能です。  
参加登録ページよりログイン頂き、画面左「登録確認・変更」をクリックし、氏名横の参加登録番号をクリックの上、国際学会への登録に変更し、差額のお支払いをお願い致します。  
なお、国際学会から国内学会への変更はできません。

※各学会への入会については学術集会和窓口が異なります。

※会員として参加された方が開催終了時点で学会入会の手続きをされていなかった場合には、非会員の参加費との差額をご請求いたします。

※一度ご入金いただいた参加費の返金はいたしかねます。恐縮ですがご了承ください。

## 講演集について（国内学会・国際学会共通）

講演集のPDFダウンロードは12月下旬から可能になります。講演集の冊子体での配布はありません。

## 参加証・領収書（国内学会・国際学会共通）

参加証と領収書はホームページよりダウンロードできます。

なお、12月以降に参加登録された方におかれましては、ダウンロードできるようになる時期が1月末になります。ご了承ください。

## 参加方法（国内学会・国際学会共通）

### 1. オンライン会場視聴用URL（以下、視聴用URL）の取得

- オンライン会場は、参加登録を完了した方のみ閲覧可能なURLを配信するシステムを導入しております。
- 参加登録をいただいたメールアドレス宛に、オンライン会場視聴用URL（以下、視聴用URL）をお送りいたします。  
※視聴用URLの配信は開催10日前から順次配信を予定しております。
- 視聴用URLをクリックすると、大会名と開催概要、注意事項を記したログイン確認ページが表示されますので、内容を確認し「オンライン会場はこちら」をクリックしてプログラムページへ移動します。
- 視聴用個人専用URLからは、学術集会期間中（1月4日～31日）のみアクセス可能となります。
- 1名の参加登録につき、URLをひとつ発行しております。
- ひとつのURLにつき、1端末での閲覧に制限しております。
- 複数端末で視聴される場合は端末台数分の参加費をお支払いいただきますようお願いいたします。
- LIVE映像、および、一般演題の閲覧・示説は、上記URLを経由しなければ参加できません。

### 2. 視聴用URLからログイン

個人専用URLよりワンクリックでオンライン会場に入室できます。



Contents

INDEX

- ▶ 座長・演者専用  
当回事務
- ▶ ライブ配信
- ▶ 主要講演閲覧・掲示板
- ▶ 一般演題閲覧・掲示板
- ▶ 資料ダウンロード

▶▶ ご視聴前に必ず下記をご確認ください

■推奨視聴環境

本ウェブサイトは、最新のバージョンのブラウザ、オペレーティング システムを使用し、インターネット接続が良好であることをご確認ください。  
これ以外の環境では、一部もしくはすべてのサービスをご利用できない場合があります。

対応ブラウザ

**PC**  
Windows (最新バージョンのGoogle Chrome、Microsoft Edge、Firefox)  
Mac (最新バージョンのGoogle Chrome、Safari、Firefox)  
※Internet Explorerは対応しておりません

**スマートフォン・タブレット**  
Android 5以上 (最新バージョンのGoogle Chrome)  
iOS 12.2以上 (最新バージョンのSafari、Google Chrome)

※メモリ容量が不足しているなど利用端末のスペックによっては、正常にご利用できない場合があります。  
端末の視聴環境安定のため、視聴時は他のアプリケーションを全て終了しておくことを推奨します。

ブラウザ設定

いずれもブラウザ設定でCSSとJavaScript及びCookieが有効な状態になっているものとします。

本ウェブサイトでは、JavaScript及びCookieを使用しているコンテンツが一部あります。お使いのブラウザでJavaScript及びCookieの設定を無効にされている場合、正しく機能しない、もしくは正しく表示されないことがあります。全てのコンテンツをご利用いただくには、ブラウザ設定でJavaScript及びCookieの設定を有効にしてくださいをお勧めいたします。

通信環境

本ウェブサイトのご利用には、高速で安定したインターネット環境 (固定回線に接続された有線、またはWi-Fiを推奨) が必要となります。

安定してご視聴いただくには、動画視聴時の通信速度は常時ダウンロードが10Mbps以上を推奨します。

こちらにアクセスしていただき「速度テストを実行」を押していただく、インターネットのダウンロード速度の測定が行えます。

※視聴には大量のデータ通信が必要となりますので、ご使用のプランをよくお確かめの上でご視聴ください。

※ご視聴いただく施設内のセキュリティ上の観点で本ウェブサイトのコンテンツがご覧にされない場合があります。

視聴環境確認

以下より、Zoomのテストミーティングを行えます。

ライブ配信 視聴テスト  
(Zoomテスト)

オンデマンド配信 視聴テスト  
(Wine)

▶▶ ログイン情報

氏名 近藤 清人  
所属 株式会社ファンブ

▶▶ お知らせ

2021.11.27  
テストページ公開中です。

▶▶ 推奨ブラウザについて

本ウェブサイトは、下記のブラウザでの閲覧を推奨しております。

Google Chrome 最新版  
Microsoft Edge 最新版  
Mozilla Firefox 最新版  
Safari 最新版

いずれもブラウザ設定でCSSとJavaScript及びCookieが有効な状態になっているものとします。

本ウェブサイトでは、JavaScript及びCookieを使用しているコンテンツが一部あります。

お使いのブラウザでJavaScript及びCookieの設定を無効にされている場合、正しく機能しない、もしくは正しく表示されないことがあります。全てのコンテンツをご利用いただくには、ブラウザ設定でJavaScript及びCookieの設定を有効にしてくださいをお勧めいたします。

▶▶ ご確認ください

◎ 禁止事項

配信動画及び発表資料の一部または全部も、許可無しに、ダウンロード、コピー、転送することは提供の如何に関わらず一切禁止いたします。

▲ 注意事項

こちらのURLは他者への貸与、譲渡等は禁止とさせていただきます。不正な利用が行われた場合、罰金料が発生いたしますので、必ず個人で管理してください

【注意事項】

- ・入退出ログの確認を行いますので、不正があった場合は請求をさせていただきます。

3. 視聴について

- ・最新のバージョンのブラウザ、オペレーティング システムを使用し、インターネット接続が良好であることをご確認ください。これ以外の環境では、一部もしくはすべてのサービスをご利用できない場合があります。
- ・オンライン会場オンライン大会ページはGoogle Chrome、Microsoft Edge、Safari、Firefoxの最新版のブラウザ (2021年11月時点) で動作確認をしています。スマートフォン・タブレットでもご覧いただけます。(ご注意:Internet Explorer ではご利用いただけません。上記のブラウザをご利用ください。)

## ライブ配信について（国内学会・国際学会共通）

【会期】 2022年1月8日(土)・1月9日(日)

- ・1月8日・9日に、メインプログラムの質疑応答・意見交換をライブ配信にて実施します。ライブ配信で行う質疑応答の部分は、録画等いたしません。その時間にのみご視聴いただけます。
- ・ライブ配信は、オンライン会議システム「Zoom」のウェビナーを利用して行います。ウェビナーでは参加者の方のお姿や声、お名前が他の参加者に伝わることはありません。ぜひ気軽にご参加ください。
- ・オンライン会場の「ライブ配信」のページに、Zoomのリンクを掲載します。Zoomでのアクセスについてもページ内に案内を掲載しますので、初めて接続する方はご参照ください。
- ・各プログラムの日程は「メインプログラム 意見交換 ライブ配信スケジュール」でご確認ください。
- ・ライブ配信中的ご質問は「Zoom」のウェビナー上の「Q&A」「チャット」で受け付けます。なお、学術集会事務局が不適切と判断した書き込みがあった場合には、書き込みを削除させていただいたり、該当者の参加を制限させていただくことがあります。

## オンデマンド配信について（国内学会・国際学会共通）

【期間】 2022年1月4日(火)～2022年1月31日(月)

- ・1月4日より、メインプログラム講演動画、一般演題発表ファイル、企画展等を視聴できます。開催期間中はオンデマンドで、いつでも、何度でも、ご都合に合わせて視聴できます。
- ・今回は「口演」「示説」「誌上発表」の3種類の発表形式があります。
- ・それぞれの演題（誌上発表も含めて）に「質問・コメント」をすることが可能です。
- ・質問に対する回答があった場合は、ご登録のメールアドレスにメールが届きます。

〈ワークショップ…1月8日(土)・9日(日)〉

- ・上記に加えて、それぞれのワークショップでは、ライブでの意見交換を行う予定です。（基本的に80分間。参加者との合意により延長可能）。日時はP.22-25「ワークショップ」をご参照ください。

## 撮影・記録の禁止（権利侵害についての注意）（国内学会・国際学会共通）

発表者の許可なく撮影や録音をすることは権利侵害に当たりますので、禁止します。

## 掲示板（チャット機能）について（国内学会・国際学会共通）

メインプログラム、一般演題にはコメントを入力する機能がありますので、ご活用ください。

【合同】【JAPHN】は、国内学会、国際学会参加者ともに視聴可能  
 【GNPHN】は、国際学会参加者のみ視聴可能（英語、字幕・翻訳対応有）  
 【合同E】は英語（字幕付）、【合同JE】は混合（字幕付）

## ライブ配信スケジュール 1月8日(土)

	メイン会場1	メイン会場2	自主運営会場1	自主運営会場2
8:00				
9:00		8:40～9:20 企画展 丸山博先生が遺したものを「生」を衛る保健師へのメッセージ		
9:20～10:20				
10:00	【合同JE】 開会式			
10:30～11:00	【合同E】 学術集会長講演 公衆衛生看護の技術開発と実装	10:30～11:00 【合同】 学術集会長講演 公衆衛生看護の技術開発と実装		
11:00	11:10～11:40 【合同】 学術集会長講演 災害対策における保健師の力			
12:00	11:50～12:40 【JAPHN】 特別講演1 日本公衆衛生看護学会の成長と今後の展望			
13:00	13:00～13:50 【合同E】 基調講演 保健師～「誰ひとり取り残されない」を衛るために～			
14:00	14:00～14:50 【JAPHN】 教育講演 新型コロナウイルスとメンタルヘルス対策	14:00～15:20 WS-1 情報交換:様々な国における保健活動の展開	14:00～15:20 WS-2 令和時代の人材(自分)育成 コロナを体験したからこそその悩み・学び、そして必要な実践力の習得	14:00～15:20 WS-3 院生倶楽部@ZOOM修士課程で公衆衛生看護学を学ぶ意味とは～健康危機の状況下を含めて～
15:00	15:00～16:45	15:30～16:40 【GNPHN】 Webinar ミネソタモデル(公衆衛生活動の輪)20年の軌跡:実践のエビデンス	15:30～16:50 WS-4 地域・職域連携推進に向けた交流会～COVID-19対策をきっかけとした地域・職域連携の有効なあり方について考える～	15:30～16:50 WS-5 全国保健師長会特別企画(第7回)地域に責任を持つ保健師活動～モチベーションを引き出す管理期保健師の役割～
16:00	【JAPHN】 シンポジウム 高齢者自身が活躍し支え合う地域づくりとフレイル予防の今			
17:00		17:00～17:50 【GNPHN】 Invited Lecture 地域保健と学校保健の連携～そこに壁のない体制をめざして～	17:00～18:20 WS-6 "時代が求める！保健師記録の仕組みづくり" 保健師記録の「情報開示」「システム」「研修プログラム」を話し合しましょう！	17:00～18:20 WS-7 地域包括ケアシステム推進にむけた保健医療福祉の連携強化に関する保健師の役割と技術
17:30～18:50	会員集会・学術奨励賞表彰報告	18:10～19:00 【GNPHN】 Invited Lecture 10代で妊娠した女性が母親になる過程における逆境的小児期体験(ACEs)の影響を理解する		18:30～19:50 WS-8 感染症に備える在留外国人への支援 外国出生妊産婦患者支援の実践から学ぶ
19:00		19:00～19:20 広告動画:厚生労働省		
19:30～21:30			20:00～21:20 WS-9 集まろう、つながろう、話そう 今日から活かせる教育実践のあれこれ～ラダー！教員と考える「学生とともに育ち合う教育」～	20:00～21:20 WS-10 若葉保健師交流会～新任期の思い・悩みを共有しませんか～
20:00	【合同JE】 シンポジウム 各国のCOVID-19対策における保健師活動の実践と展望			
21:00		21:30～21:50 広告動画:保健師映画		
22:00			22:00～23:30 【合同JE】 Zoom交流会	

# ライブ配信スケジュール 1月9日(日)

	メイン会場1	メイン会場2	自主運営会場1	自主運営会場2
7:00		7:00～7:50 【GNPHN】 Invited Lecture 日本の保健師によるコースに基づく 地域ヘルスケアシステムの開発		
8:00		8:00～8:50 【GNPHN】 Invited Lecture 精神障害者の施設後時代における 政策とプログラム・アメリカの経験		
9:00	9:10～10:00 【合同E】 基調講演 疫学の研究成果を保健活動に活かす ～生活習慣病予防、エコチル調査など～			
10:00	10:10～11:00 【JAPHN】 セミナー1 地域の社会課題を解決するための データヘルス計画と政策形成	10:10～11:20 【合同JE】 優秀演題賞授賞式	10:10～11:30 WS-11 「在宅医療・介護連携推進事業の今後 について語り合う会」	10:10～11:30 WS-12 ニューノーマル時代の「私たちの 働き方改革」 ～自分らしく働くということ～
11:00	11:20～12:10 【JAPHN】 セミナー2 こころを動かす行動経済学 (ナッジ理論)の活用			
12:00		12:10～13:00 【JAPHN】 特別講演2 保健所におけるCOVID-19に 関わる統括保健師の活動	11:50～13:10 WS-13 COVID-19積極的疫学調査における 保健師の役割 ～これまでの結核感染症対策で培わ れた経験をどう生かしているか～	11:50～13:10 WS-14 公衆衛生看護技術について 考えよう！
13:00	13:00～14:00 【JAPHN】 招へい講演 貧困・虐待・・・最底辺の リアルと向き合って		13:10～14:30 WS-15 日本公衆衛生看護学会認定専門家認 証制度が始まります！ ～制度を詳しく知り、どう活用でき るか考えよう～	13:10～14:30 WS-16 つながろう！ 地域包括支援センター 保健師職 ～コロナに負けない！ 地域における 工夫を通して～
14:00	14:10～15:00 【JAPHN】 教育講演 災害に強い地域コミュニティの形成 と地域との協働			
15:00	15:10～16:00 【JAPHN】 セミナー3 日本の母子保健の変遷と保健師に 期待すること	14:50～16:10 WS-17 倫理委員会企画「コロナ禍での ICTを活用した研究における倫理を 考える」	14:50～16:10 WS-18 地域の強みを高める公衆衛生看護技 術～ポジティブヘルス推進に向けて ワザゲット！～	14:50～16:10 WS-19 開業保健師活動の実態とコロナ禍 における活動の発展
16:00				
17:00	16:30～17:30 【合同JE】 閉会式			
18:00	17:30～18:10 企画展 丸山博先生が遺したもの ー「生」を甦る保健師へのメッセージー			
19:00				
20:00				

# セレモニー一覧

## 開会式

1月8日(土) 9:20~10:20

### オープニングセレモニー

#### 祝辞

厚生労働省健康局長  
大阪大学総長  
GNPHN Council, Chair  
日本看護協会会長

## Zoom交流会

1月8日(土) 22:00~23:30 指定したURLに入室

### 唄って踊って、ゲームもあるよ。世界の保健師と交流しよう！

参加費無料、当日参加OK、オンライン会場でURLを確認してご入室ください。  
企画：10JAPHN・6GNPHN学術集会企画委員会

#### Special Thanks：

木全 智恵子 様（ズンバダンス協力：ハワイ在住・保健統計研究者・大阪大学3期生）  
中島 玲子 様（英語司会協力：ボストン在住・ファイザー社研究者・大阪大学7期生）  
寺本 千恵 様（合唱協力：南米留学経験あり・広島大学大学院周手術期・クリティカルケア  
開発学 講師）

## 閉会式

1月9日(日) 16:30~17:30

### 学術集会スライドショー

#### 次回開催地からのご挨拶：

第11回日本公衆衛生看護学会学術集会（宮城県）  
GNPHN 7th International Conference (July 2025 in Calgary, Alberta, Canada)

# プログラム 1月8日(土)

★印は(公財)在宅医療助成 勇美記念財団との共催プログラム

プログラムに記載したアルファベットの意味は次のとおりです。

L：ライブ配信のみ（コメントはオンデマンドサイトのチャットにて）

Q：ライブ配信時に質疑応答あり

S：シンポジウム、ライブ配信時に質疑応答あり

E：英語による配信（日本語字幕又は日本語版対応あり）

なお、すべてのプログラムはオンデマンドでも配信しています。

## 合同メインプログラム

**学術集会長講演 L-1E** メイン会場1 1月8日(土) 10:30～11:00

### 公衆衛生看護の技術開発と実装

座長：荒木田 美香子（(社)日本公衆衛生看護学会 国際委員長／川崎市立看護短期大学 教授）

演者：岡本 玲子（大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授）

**学術集会長講演 L-2** メイン会場1 1月8日(土) 11:10～11:40

### 災害対策における保健師の力

座長：麻原 きよみ（(社)日本公衆衛生看護学会 理事長／聖路加国際大学大学院 看護学研究科 教授）

演者：松本 珠実（大阪市健康局健康推進部 保健主幹）

**基調講演 L-4E ★** メイン会場1 1月8日(土) 13:00～13:50

### 保健師～「誰ひとり取り残されない」を衛るために～

座長：合田 加代子（甲南女子大学看護リハビリテーション学部 教授）

演者：中村 安秀（日本WHO協会 理事長／大阪大学 名誉教授）

**シンポジウム S-2 ★** メイン会場1 1月8日(土) 19:30～21:30

### 各国のCOVID-19対策における保健師活動の実際と展望

座長：齋藤 智也（国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター長）

大澤 絵里（国立保健医療科学院 国際協力研究部 上席主任研究官）

### COVID-19 対応における保健師活動(大阪府を中心に活動経過を振り返る)

演者：山本 祐子（大阪府健康医療部健康医療総務課 参事）

**Actual Situation and Perspective of Public Health Nursing Activities in Response to COVID-19 in USA**

演者：Mary Koslap-Petraco (Adjunct Clinical Assistant Professor Stony Brook University  
School of Nursing ; Health Sciences Center Level 2)

**Actual Situation and Perspective of Public Health Nursing Activities in Response to COVID-19 in Korea**

演者：Dosoon Park (Community Health Practitioner, Gong-Jin Primary Health Care Post)

**Actual Situation and Perspective of Public Health Nursing Activities in Response to COVID-19 in Nigeria**

演者：Stella Iwuagwu (Executive Director of NPO ; Centre for the Right to Health)

**Preparing and Delivering the Specialist Community Public Health Nursing Programme During the COVID Pandemic**

演者：Amanda Holland (Lecturer/CPHVA Wales Chair  
Cardiff University School of Healthcare Sciences  
Community Practitioner and Health Visitor Association)

## 国内メインプログラム

### 特別講演1 L-3

メイン会場1 1月8日(土) 11:50~12:40

#### 日本公衆衛生看護学会の成長と今後の展望

座長：松本 珠実（大阪市健康局健康推進部 保健主幹）

演者：麻原 きよみ（日本公衆衛生看護学会理事長, 聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授）

### 教育講演 Q-1 ★

メイン会場1 1月8日(土) 14:00~14:50

#### 新型コロナウイルスとメンタルヘルス対策

座長：栗岡 住子（桃山学院教育大学 教授）

演者：高崎 正子（キオクシア(株) 四日市工場総務部健康支援センター シニアエキスパート）

### シンポジウム S-1 ★

メイン会場1 1月8日(土) 15:00~16:45

#### 高齢者自身が活躍し支え合う地域づくりとフレイル予防の今

座長：岩本 里織（神戸市看護大学 教授）

齊藤 和美（大阪市健康局健康推進部健康施策課 担当係長）

基調講演：河野 あゆみ（大阪府立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域 教授）

#### 高齢者自身が活躍し支えあう地域づくりとフレイル予防の今

##### ～奈良県生駒市での取り組みを通して～

シンポジスト：田中 明美（厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課地域づくり推進室 室長補佐）

#### 民間のノウハウを生かした介護予防無関心層への挑戦！

##### 堺市介護予防「あ・し・た」プロジェクトの取り組みについて

シンポジスト：安斉 智子（堺市健康福祉局生活福祉部地域共生推進課 参事）

### 会員集会・学術奨励賞表彰報告

メイン会場1 1月8日(土) 17:30~18:50

## 国際メインプログラム

**Webinar L-7E**

メイン会場2 1月8日(土) 15:30～16:40

### ミネソタモデル(公衆衛生活動の輪)～20年の軌跡:実践のエビデンス～

座長: 岡本 玲子 (大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授)

演者: Marjorie A. Schaffer (Department of Nursing, Bethel University, St. Paul, Minnesota, USA)

**Invited Lecture Q-2E**

メイン会場2 1月8日(土) 17:00～17:50

### 地域保健と学校保健の連携～そこに壁のない体制をめざして～

座長: 横山 美江 (大阪市立大学大学院看護学研究科 教授)

演者: 中村 富美子 (静岡県沼津市立大岡中学校 養護教諭)

内山 有子 (東洋大学ライフデザイン学部 准教授)

**Invited Lecture Q-3E**

メイン会場2 1月8日(土) 18:10～19:00

### 10代で妊娠した女性が母親になる過程における逆境の小児期体験(ACEs)の影響を理解する

座長: 和泉 京子 (武庫川女子大学看護学部看護学科 教授)

金谷 志子 (武庫川女子大学看護学部看護学科 准教授)

演者: 大川 聡子 (関西医科大学看護学部 准教授)

水粉 茉莉香 (門真市保健福祉部健康増進課)

# プログラム 1月9日(日)

## 合同メインプログラム

基調講演 L-5E

メイン会場1 1月9日(日) 9:10~10:00

疫学の研究成果を保健活動に活かす～生活習慣病予防、エコチル調査など～

座長：神出 計（大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授）

演者：磯 博康（大阪大学大学院 教授／日本公衆衛生学会 理事長）

## 国内メインプログラム

### 特別講演2 Q-8 ★

メイン会場2 1月9日(日) 12:10~13:00

#### 保健所におけるCOVID-19に関わる統括保健師の活動

座長：蕨野 由佳里（大阪市保健所管理課 保健主幹）

演者：山崎 初美（神戸市健康局 保健企画担当局長）

### 招へい講演 L-6 ★

メイン会場1 1月9日(日) 13:00~14:00

#### 貧困・虐待・・・最底辺のリアルと向き合って

座長：岡本 玲子（大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授）

演者：石井 光太（ノンフィクション作家）

### 教育講演 Q-9 ★

メイン会場1 1月9日(日) 14:10~15:00

#### 災害に強い地域コミュニティの形成と地域との協働

座長：奥田 博子（国立保健医療科学院健康危機管理研究部 上席主任研究官）

演者：生田 英輔（大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授）

### セミナー1 Q-6 ★

メイン会場1 1月9日(日) 10:10~11:00

#### 地域の社会課題を解決するためのデータヘルス計画と政策形成

座長：佐伯 和子（富山県立大学看護学部 教授）

演者：野口 緑（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学 特任准教授）

### セミナー2 Q-7

メイン会場1 1月9日(日) 11:20~12:10

#### こころを動かす行動経済学(ナッジ理論)の活用

座長：和泉 比佐子（神戸大学大学院保健学研究科 教授）

演者：高橋 勇太（NPO法人PolicyGarage 理事／  
横浜市行動デザインチーム; YBiT 代表／  
横浜市鶴見区こども家庭支援課 こども家庭支援担当係長）

### セミナー3 Q-10

メイン会場1 1月9日(日) 15:10~16:00

#### 日本の母子保健の変遷と保健師に期待すること

座長：都筑 千景（大阪府立大学大学院看護学研究科 教授）

演者：加藤 則子（十文字学園女子大学教育人文学部 教授）

## 国際メインプログラム

**Invited Lecture Q-4E**

メイン会場1 1月9日(日) 7:00~7:50

### 日本の保健師によるニーズに基づく地域ヘルスケアシステムの開発

座長：小西 かおる（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授）

演者：吉岡 京子（国立保健医療科学院生涯健康研究部 上席主任研究官）

**Invited Lecture Q-5E**

メイン会場1 1月9日(日) 8:00~8:50

### 精神障害者の脱施設化後時代における政策とプログラム：アメリカの経験

座長：蔭山 正子（大阪大学高等共創研究院 教授）

演者：Phyllis Solomon (Professor, University of Pennsylvania, Center for Public Health Initiatives)

# 優秀演題賞授賞式 (Awards Ceremony for Excellence)

メイン会場 2 1月9日 10:10~11:20

## 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会

### 《研究報告の部》

#### 最優秀演題賞 5-4-2

COVID-19感染拡大下における保健所保健師のメンタルヘルスの実態・個人属性の観点から

鶴田 華恋<sup>1)</sup>、鳩野 洋子<sup>2)</sup>

1)九州大学医学系学府保健学専攻

2)九州大学大学院医学研究院保健学部門

#### 優秀演題賞 13-6

外国人結核患者を支援する通訳者は何をしているのか - 通訳者の結核療養支援の可視化の試み (第一報) -

座間 智子、永田 容子

公益財団法人 結核研究所

### 《活動報告の部》

#### 最優秀演題賞 5-2-4

管内市と協働した難病患者等における災害時の電源確保に向けた取組み

高橋 由美子<sup>1)</sup>、丸岡 綾子<sup>1)</sup>、池上 麻衣子<sup>1)</sup>、山内 麻由美<sup>1)</sup>、直井 晴美<sup>1)</sup>、

坪井 あやか<sup>1)</sup>、橋本 雅美<sup>1)</sup>、尾形 佳代<sup>2)</sup>

1)東京都多摩府中保健所

2)東京都多摩小平保健所

#### 優秀演題賞 14-1

地域包括ケアシステム推進にむけた難病患者及び家族を支援する上での課題明確化のためのヒアリング調査

山縣 史果<sup>1)</sup>、鈴木 美佐子<sup>1)</sup>、北川 真利江<sup>1)</sup>、野口 悠子<sup>1)</sup>、福永 優奈<sup>1)</sup>、三場 知香<sup>2)</sup>

1) 寝屋川市保健所 健康部 保健予防課

2) 大阪府健康医療部 保健医療室 地域保健課

## 6th Global Network of Public Health Nursing

### 《Research Report》

#### Best Award of Excellence GN12-1-5

Parental assessment of offspring at age 15 predicts mental disorders at a three-year follow-up

Kristina Carlén<sup>1)</sup>, Sakari Suominen<sup>1,2)</sup>, Lilly Augustine<sup>3)</sup>, Maiju Saarinen<sup>4)</sup>,  
Minna Aromaa<sup>2,5)</sup>, Päivi Rautava<sup>2,6)</sup>, Andre'Sourander<sup>7,8)</sup>, Matti Sillanpää<sup>4)</sup>

- 1) School of Health Sciences, University of Skövde, Skövde, Sweden
- 2) Department of Public Health, University of Turku, Turku, Finland
- 3) School of Learning and Communication, Jönköping University, Jönköping, Sweden
- 4) Department of Child Neurology and General Practice, University of Turku and Turku University Hospital, Turku, Finland
- 5) City of Turku Welfare Division, Turku, Finland
- 6) Turku University Hospital, Clinical Research Centre, Turku, Finland
- 7) Department of Child Psychiatry, University of Turku, Turku, Finland
- 8) Department of Child Psychiatry, Turku University Hospital, Turku, Finland

#### Award of Excellence GN14-1

The use of breast cancer screening between women with and without disabilities in Taiwan :  
A population-based cohort study

Puchong Inchai<sup>1,2)</sup>, Pei-Tseng Kung<sup>3,4)</sup>, Li-Ting Chiu<sup>2)</sup>, Wen-Chen Tsai<sup>2)</sup>

- 1) Graduate Institute of Public Health, College of Public Health, China Medical University, Taichung, Taiwan, R.O.C.
- 2) Department of Health Services Administration, China Medical University, Taichung, Taiwan, R.O.C.
- 3) Department of Healthcare Administration, Asia University, Taichung, Taiwan, R.O.C. 4) Department of Medical Research, China Medical University Hospital, China Medical University, Taichung, Taiwan, R.O.C.

#### Award of Excellence GN9-5-3

Community-based health care professionals' experiences of discussing financial challenges with pregnant women and new parents during routine practice

Flora Douglas<sup>1)</sup>, Emma MacIver<sup>1)</sup>, Tracy Davis<sup>2)</sup>

- 1) The Robert Gordon University, Aberdeen
- 2) NHS Grampian, Scotland, UK

### 《Activity Report》

#### Best Award of Excellence GN3-1

A Health Literacy Program for Youth in a Juvenile Detention Center Before and During Covid-19

Susan Walsh, Jennifer Obrecht, Rebecca Singer  
University of Illinois Chicago College of Nursing

## 日本公衆衛生看護学会10周年記念事業

オンデマンドのみ 1月4日～31日

### 10周年記念スライドショー

企画・制作：10周年記念事業検討委員会

## 企画展

メイン会場2 1月8日(土) 8:40～9:20

メイン会場1 1月9日(日) 17:30～18:10

### 丸山博先生が遺したものー「生」を衛る保健師へのメッセージー

制作：大阪大学大学院公衆衛生看護学教室

### 丸山博先生が遺したもの:付録「14年目の訪問」(オンデマンドのみ)

制作：大阪大学大学院公衆衛生看護学教室

## 広告動画

メイン会場2 1月8日(土) 19:00～19:20

### ひと、暮らし、みらいのためにー厚生労働省看護系技官になってみませんか?ー

制作：厚生労働省健康局健康課保健指導室

メイン会場2 1月8日(土) 21:30～21:50

### 保健所保健師映画ダイジェスト

### 「終わりの見えない闘いー新型コロナウイルス感染症と保健所」

監督：宮崎 信恵

ここに挙げた広告動画に加え、オンデマンド会場では、大学院保健師コースを持つ協賛大学の広告動画を配信しています。ぜひご覧ください。

# ワークショップ

WS-1

メイン会場 2 1月8日(土) 14:00～15:20

## 情報交換:様々な国における保健活動の展開

○荒木田 美香子<sup>1)</sup>、遠藤 雅幸<sup>2)</sup>、岡本 玲子<sup>3)</sup>、坂本 真理子<sup>3)</sup>、高橋 勇太<sup>4)</sup>、  
田中 美帆<sup>5)</sup>、松田 有子<sup>1)</sup>

1) 川崎市立看護短期大学、2) 東京大学大学院、3) 愛知医科大学、4) 横浜市、  
5) 大阪大学大学院

WS-2

自主運営会場 1 1月8日(土) 14:00～15:20

## 令和時代の人財(自分)育成

### コロナを体験したからこそその悩み・学び、そして必要な実践力の習得

○丸谷 美紀、吉岡 京子、麻生 保子、佐藤 美樹、小宮山 恵美  
国立保健医療科学院

WS-3

自主運営会場 2 1月8日(土) 14:00～15:20

## 院生倶楽部@ZOOM修士課程で公衆衛生看護学を学ぶ意味とは

### ～健康危機の状況下を含めて～

○津村 美里、亘 美咲、浅井 祥子、久保 怜音  
神戸大学大学院

WS-4

自主運営会場 1 1月8日(土) 15:30～16:50

## 地域・職域連携推進に向けた交流会

### ～COVID-19対策をきっかけとした地域・職域連携の有効なあり方について考える～

○三橋 祐子<sup>1)</sup>、島本 さと子<sup>1)</sup>、浦井 史恵<sup>2)</sup>、山口 理恵<sup>3)</sup>、穂積 由紀江<sup>4)</sup>、  
長谷川 由希子<sup>5)</sup>

1) 東海大学、2) 大東コーポレートサービス株式会社、3) 花王株式会社 鹿島工場、  
4) オリナス株式会社 白河事業場、5) (株)日立製作所 京浜地区産業医療統括センター

WS-5

自主運営会場 2 1月8日(土) 15:30～16:50

## 全国保健師長会特別企画(第7回)

### 地域に責任を持つ保健師活動

#### ～モチベーションを引き出す管理期保健師の役割～

○福永 淑江<sup>1)</sup>、石堂 双葉<sup>2)</sup>、菅野 恵美<sup>3)</sup>、芦達 麻衣子<sup>4)</sup>、高橋 みね<sup>5)</sup>

1) 大阪市西区保健福祉センター、2) 大阪府健康医療部健康医療総務課、  
3) 大阪市健康局健康推進部健康づくり課、4) 大阪市生野区保健福祉センター、  
5) 宮城県保健福祉部保健福祉総務課兼医療人材対策室

WS-6

自主運営会場1 1月8日(土) 17:00～18:20

**“時代が求める！保健師記録の仕組みづくり”**

**保健師記録の「情報開示」「システム」「研修プログラム」を話し合しましょう！**

○柳澤 尚代<sup>1)</sup>、清水 洋子<sup>2)</sup>、吉本 照子<sup>3)</sup>、菅原 京子<sup>4)</sup>

- 1) 弘前学院大学、2) 東京女子医科大学大学院、3) 元千葉大学大学院、  
4) 山形県立保健医療大学

WS-7

自主運営会場2 1月8日(土) 17:00～18:20

**「地域包括ケアの実現を支える保健所の取り組み」ヘルシースタートおおいの取り組みから一母子の健やかな成長を、県および県保健所として支える一**

○村嶋 幸代<sup>1)</sup>、鎌田 久美子<sup>2)</sup>、木嶋 彩乃<sup>1)</sup>、野村 陽子<sup>3)</sup>

- 1) 大分県立看護科学大学、2) 日本看護協会、3) 名寄市立大学

WS-8

自主運営会場2 1月8日(土) 18:30～19:50

**感染症に備える 在留外国人への支援  
外国出生結核患者支援の実践から学ぶ**

○座間 智子、永田 容子

公益財団法人 結核研究所

WS-9

自主運営会場1 1月8日(土) 20:00～21:20

**集まろう、つながろう、話そう 今日から活かせる教育実践のあれこれ  
～ラダー I 教員と考える「学生とともに育ち合う教育」～**

○山崎 真帆<sup>1)</sup>、鈴木 純子<sup>2)</sup>、永井 智子<sup>3)</sup>、戸渡 洋子<sup>4)</sup>、小山 千秋<sup>5)</sup>、窪田 志穂<sup>6)</sup>、  
田村 晴香<sup>7)</sup>、斉藤 瑛梨<sup>8)</sup>、一色 喜保<sup>9)</sup>、中島 富志子<sup>10)</sup>

- 1) 湘南医療大学、2) 名古屋医専 保健師学科、3) 目白大学 看護学部、  
4) 熊本保健科学大学 保健科学部 看護学科、5) 武蔵野大学、  
6) 愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科、  
7) 名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻、8) 茨城県立医療大学 看護学科、  
9) 東京工科大学 医療保健学部 看護学科、10) 日本保健医療大学 保健医療学部 看護学科

WS-10

自主運営会場2 1月8日(土) 20:00～21:20

**若葉保健師交流会 ～新任期の思い・悩みを共有しませんか～**

○星 翼<sup>1)</sup>、貝沼 まりや<sup>2)</sup>、長沼 由佳<sup>3)</sup>、藤富 絵里香<sup>4)</sup>、佐藤 太地<sup>5)</sup>、寺本 健太<sup>6)</sup>、  
和辻 雄仁<sup>7)</sup>

- 1) 埼玉県春日部保健所、2) 草加市子育て支援センター、  
3) 横浜市こども青少年局南部児童相談所、4) 横浜市鶴見区福祉保健課、  
5) 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程看護学専攻地域看護学領域、  
6) 開成町役場、7) 京都府中丹西保健所

## 「在宅医療・介護連携推進事業の今後について語り合う会」

○宮成 優子<sup>1)</sup>、大黒 美渚<sup>2)</sup>

1)大阪市健康局、2)高知市

## ニューノーマル時代の「私たちの働き方改革」

～自分らしく働くということ～

○岡田 陸美<sup>1)</sup>、大木 幸子<sup>2)</sup>、芳我 ちより<sup>3)</sup>、谷口 瑠美子<sup>4)</sup>、中村 富美子<sup>5)</sup>、御小柴 朋子<sup>6)</sup>1)富士通株式会社健康推進本部健康支援室、2)杏林大学保健学部看護学科、  
3)香川大学医学部看護学科、4)JR東海健康管理センター新大阪健康管理室、  
5)静岡県沼津市立大岡中学校、6)横浜市鶴見区福祉保健センター子ども家庭支援課

## COVID-19積極的疫学調査における保健師の役割

～これまでの結核感染症対策で培われた経験をどう生かしているか～

○斉藤 富美代<sup>1)</sup>、鈴木 良美<sup>2)</sup>、山下 留理子<sup>3)</sup>、藤井 広美<sup>4)</sup>、室山 孝子<sup>5)</sup>、  
深津 恵美<sup>6)</sup>、河西 あかね<sup>7)</sup>、山本 裕美<sup>8)</sup>1)埼玉県狭山保健所、2)東京医科大学、3)徳島大学、4)杏林大学、5)横浜市、  
6)北海道江別保健所、7)東京都多摩府中保健所、8)東京都日野市

## 公衆衛生看護技術について考えよう！

○岩本 里織<sup>1)</sup>、大木 幸子<sup>2)</sup>、滝澤 寛子<sup>3)</sup>、鈴木 美和<sup>4)</sup>、松原 美智子<sup>5)</sup>、  
入野 了士<sup>6)</sup>、伊木 智子<sup>7)</sup>、草野 恵美子<sup>8)</sup>、長谷川 美香<sup>9)</sup>、山田 小織<sup>10)</sup>1)神戸市看護大学、2)杏林大学、3)京都看護大学、4)三育学院大学、5)北海道科学大学、  
6)愛媛県立医療技術大学、7)大阪医科薬科大学、8)関西看護医療大学、9)福井大学、  
10)福岡女学院看護大学

## 日本公衆衛生看護学会認定専門家認証制度が始まります！

～制度を詳しく知り、どう活用できるか考えよう～

○森田 誠子<sup>1)</sup>、井倉 一政<sup>2)</sup>、佐伯 和子<sup>3)</sup>、斉藤 恵美子<sup>4)</sup>、濱野 芳江<sup>5)</sup>、的場 由木<sup>6)</sup>1)聖路加国際大学大学院、2)岐阜協立大学看護学部、3)富山県立大学看護学部、  
4)東京都立大学健康福祉学部、5)横須賀市、6)NPO法人自立支援センターふるさとの会

**つながろう！ 地域包括支援センター保健師職  
～コロナに負けない！ 地域における工夫を通して～**

○保母 恵<sup>1)</sup>、岡野 明美<sup>2)</sup>、古賀 佳代子<sup>3)</sup>、藤本 公恵<sup>4)</sup>、小林 奈緒子<sup>5)</sup>、  
志村 いづみ<sup>6)</sup>、曾我 智子<sup>7)</sup>、永井 潤子<sup>8)</sup>、森永 朗子<sup>9)</sup>

- 1) 国際医療福祉大学、2) 大阪府立大学大学院看護学研究科、3) 福岡大学医学部看護学科、
- 4) 木津川市地域包括支援センター木津東、5) 新潟上越市役所、
- 6) 医療法人徳洲会四條畷介護支援センター、7) 泉大津市社会福祉協議会、
- 8) 国立市役所健康増進課保健センター、
- 9) 福岡大学大学院医学研究科博士課程社会医学系専攻

**倫理委員会企画「コロナ禍でのICTを活用した研究における倫理を考える」**

○和泉 比佐子<sup>1)</sup>、伊木 智子<sup>2)</sup>、岩本 里織<sup>3)</sup>、金谷 志子<sup>4)</sup>、重松 美智子<sup>5)</sup>、  
永見 徹<sup>6)</sup>、山野井 尚美<sup>7)</sup>

- 1) 神戸大学大学院、2) 関西看護医療大学、3) 神戸市看護大学、4) 武庫川女子大学、
- 5) 田辺三菱製薬株式会社、6) 横浜市、7) 新見公立大学

**地域の強みを高める公衆衛生看護技術～ポジティブヘルス推進に向けてワザゲット！～**

○岡本 玲子<sup>1)</sup>、小出 恵子<sup>1)</sup>、蔭山 正子<sup>1)</sup>、岩本 里織<sup>2)</sup>、合田 加代子<sup>3)</sup>、  
草野 恵美子<sup>4)</sup>、塩見 美抄<sup>5)</sup>、田中 美帆<sup>1)</sup>、聲高 英代<sup>3)</sup>

- 1) 大阪大学大学院、2) 神戸市看護大学看護学部、
- 3) 甲南女子大学看護リハビリテーション学部、4) 大阪医科薬科大学看護学部、
- 5) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

**開業保健師活動の実態とコロナ禍における活動の発展**

○井倉 一政<sup>1)</sup>、徳永 京子<sup>2)</sup>

- 1) 岐阜協立大学、2) チームヒューマン

# 一般演題

## 1 地域づくり

座長：牛尾 裕子（山口大学大学院）

- 1-1 地域住民のヘルスリテラシーとヘルスプロモーション支援の検討  
伊藤 千春（西武文理大学看護学部看護学科）
- 1-2 認知症地域支援推進員を兼ねた包括の保健師が行った地域づくり  
阿部 宏史（藍野大学 医療保健学部看護学科）
- 1-3 地域共生社会の実現に向けた障害者支援の取り組み  
古川 智美（広島市東区役所厚生部地域支えあい課）
- 1-4 東京23区の地域包括支援センター看護職による「通いの場」の支援状況と関連因子  
佐藤 仁瑛（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科）

## 2 地区・住民組織活動

座長：星野 明子（大阪成蹊大学）

- 2-1 東日本大震災により被災した住民・地域へのコミュニティ支援についての活動報告  
佐々木 麻衣（仙台市宮城野区保健福祉センター家庭健康課）
- 2-2 地域における女性の健康増進活動に関する文献レビュー  
佐藤 愛子（聖路加国際大学大学院修士課程修了生）
- 2-3 老人クラブが主体的に築いた「地域高齢者見守り活動」を持続可能にするしくみ  
—老人クラブと地域包括支援センターの連携—  
浜崎 優子（佛教大学）

## 3 健康教育・グループ支援

座長：望月 宗一郎（健康科学大学）

- 3-1 多胎児家庭を対象とする育児学級の保健師の役割について  
—行政の育児学級と地域の自主サークルの支援における役割の違い—  
昆 悠紀子（大田区保健所）
- 3-2 保護者およびスタッフからの質的意見を重視した乳幼児発達相談強化事業の効果の検証  
青崎 聖花（大阪市阿倍野区保健福祉センター）

## 4 家族支援

座長：福本 久美子（九州看護福祉大学）

- 4-1 認知症高齢者の家族介護者に対する介護支援専門員の支援実践と関連要因  
深川 周平（札幌医科大学保健医療学部看護学科）
- 4-2 コロナ禍における全国自治体での母子保健事業および父親支援の実施状況の調査  
高木 悦子（帝京科学大学）
- 4-3 孫育てに対する祖父母の思いと孫育てが祖父母に及ぼす影響に関する文献的考察  
大濱 麻莉（元大阪府立大学看護学類）
- 4-4 保育士と連携したA町の母子保健活動  
中里 早苗（岩手県軽米町）

## 5 健康危機管理1

座長：大倉 美佳（名古屋大学大学院）

- 5-1-1 災害時在宅人工呼吸器装着者の個別避難計画作成に向けた市町への支援  
大田 景子（大阪府泉佐野保健所）
- 5-1-2 コロナ禍の豪雨災害における避難所運営の課題  
修士課程保健師教育における地域マネジメント実習  
名嘉 飛呂野（大分県立看護科学大学大学院博士前期課程広域看護学コース）
- 5-1-3 集合住宅に居住する高齢者の防災意識と準備状況の実態  
室 詩織（大阪市福島区保健福祉センター）
- 5-1-4 北海道胆振東部地震における委託型地域包括支援センター保健師の活動内容  
田中 裕子（北海道医療大学）
- 5-1-5 災害公営住宅入居者における「住まい」が「住まい方」に及ぼす影響：The RIAS study  
鈴木 るり子（岩手保健医療大学）
- 5-1-6 新型コロナウイルス感染症に対する応援派遣人材育成のための研究 第1報  
- 応援派遣者のニーズに関する調査 -  
井口 理（日本赤十字看護大学）
- 5-1-7 新型コロナウイルス感染症に対する応援派遣人材育成のための研究 第2報  
eラーニング教材開発  
吉川 悦子（日本赤十字看護大学）

## 5 健康危機管理2

座長：山田 和子（四天王寺大学）

- 5-2-1 新型コロナウイルス(COVID-19)軽症者宿泊療養施設での看護実践における困難  
水川 真理子（神戸市看護大学）
- 5-2-2 乳幼児をもつ保護者の複合災害に対する防災意識と備えに関する調査  
－セミナー受講前後での比較－  
中野 沙織（徳島大学大学院医歯薬学研究部地域看護学分野）
- 5-2-3 医療系大学における新型コロナウイルス感染対策に関する学生の意識等調査  
望月 聡一郎（湘南医療大学）
- 5-2-4 管内市と協働した難病患者等における災害時の電源確保に向けた取組み  
高橋 由美子（東京都多摩府中保健所）
- 5-2-5 避難行動要支援者の災害時における対応の検討  
吉田 早苗（大阪市住之江区保健福祉センター）
- 5-2-6 足利市西宮林野火災における保健活動報告  
吉澤 佐知子（足利市役所）

## 5 健康危機管理3

座長：北岡 英子（湘南鎌倉医療大学）

- 5-3-1 自治体における災害時の保健活動マニュアルの作成とその活用状況  
伊藤 弘美（寝屋川市保健所）
- 5-3-2 災害時の保健師活動の初動体制整備及び避難所の感染症対策  
廣野 美穂（京都市西京区役所洛西支所保健福祉センター）
- 5-3-3 新型コロナウイルス感染症に対応する保健師の心理的健康度について  
岩本 里織（神戸市看護大学）
- 5-3-4 COVID-19対応に関わる保健所業務における外部委託・非常勤職員等の効果的な活用1:保健所での活用方法と留意点  
雨宮 有子（千葉県立保健医療大学健康科学部）
- 5-3-5 COVID-19対応に関わる保健所業務における外部委託・非常勤職員等の効果的な活用2:本庁でのマネジメント  
石橋 みゆき（千葉大学大学院看護学研究院）
- 5-3-6 COVID-19対応に関わる保健所業務における外部委託・非常勤職員等の効果的な活用3:外部委託等活用ガイドライン  
春山 早苗（自治医科大学看護学部）

## 5 健康危機管理4

座長：井上 清美（姫路獨協大学）

- 5-4-1 健康危機発生後の自治体保健師の経験に関する文献検討  
村上 祐里香（山口大学大学院医学系研究科保健学専攻）
- 5-4-2 COVID-19感染拡大下における保健所保健師のメンタルヘルスの実態  
-個人属性の観点から-  
鶴田 華恋（九州大学医学系学府保健学専攻）
- 5-4-3 新型コロナウイルス感染拡大に対応した市町村保健部署の活動実施体制  
鳩野 洋子（九州大学）
- 5-4-4 国内外の災害時保健活動に関する教育研修方法に関する文献レビュー  
安齋 由貴子（宮城大学看護学群）
- 5-4-5 コロナ禍の行政保健師活動における悩み、課題とその対策  
氏原 将奈（淑徳大学看護栄養学部看護学科）
- 5-4-6 「保健所保健師の在宅難病患者の災害時個別支援計画の作成および活用の現状と課題」  
亘 美咲（神戸大学大学院保健学研究科地域看護学分野パブリックヘルス領域）

## 6 公衆衛生看護管理

座長：森永 裕美子（岡山県立大学）

- 6-1 管理期保健師の認識からみた都道府県型保健所の地域診断の特徴  
深津 恵美（北海道江別保健所）
- 6-2 新型コロナウイルス感染症流行下における保健師活動の変化に関する調査  
山下 正（神戸市看護大学）
- 6-3 震災における住民との協働を引き出す保健師の平常時の地区活動とソーシャル  
キャピタルおよび熊本地震時の困難との関連  
大河内 彩子（熊本大学大学院生命科学研究部 看護学専攻）
- 6-4 山梨県の派遣保健師活動  
伊丹 幸子（健康科学大学看護学部）
- 6-5 住民から暴力を受けた保健師の認識と対処行動及び職場の対応について  
横田 恵（山口県立大学）
- 6-6 委託型地域包括支援センターに地区診断を導入するために取り組んだ研修に対する  
研修主催保健師が捉えた評価  
岡野 明美（大阪府立大学大学院看護学研究科）

## 7 基礎教育1

座長：鈴木 良美（東京医科大学）

- 7-1-1 オンラインを活用した継続的健康生活支援実習の展開  
中村 有美子（関西福祉大学看護学部）
- 7-1-2 新型コロナウイルス感染症の発生前後での実習体験の比較と実習の方法  
高橋 郁子（帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科）
- 7-1-3 Covid-19流行下の公衆衛生看護学実習における継続訪問事例の教育方法の検討  
成田 太一（新潟大学大学院保健学研究科）
- 7-1-4 コロナ禍の保健師教育における臨地実習代替の現状と課題に関する文献レビュー  
金森 弓枝（熊本大学大学院 生命科学研究部 環境社会学部門 看護学専攻）
- 7-1-5 新型コロナウイルス感染症防止に伴う新たな在宅看護学実習の取り組み（第1報）  
オンライン・学内演習での学生の学び  
末田 千恵（神奈川県立保健福祉大学）
- 7-1-6 新型コロナウイルス感染症防止に伴う新たな在宅看護学実習の取り組み（第2報）  
施設実習までの学びを通してのプログラム評価  
富塚 美和（駒沢女子大学看護学部）
- 7-1-7 コロナ禍における保健師教育の実習実態～一事例報告より～  
福本 久美子（九州看護福祉大学）

## 7 基礎教育2

座長：小林 真朝（聖路加国際大学大学院）

- 7-2-1 看護学生が抱く災害看護のイメージ  
―事例を活用したグループインタビュー調査―  
望月 麻衣（松蔭大学看護学部看護学科）
- 7-2-2 看護学生の保健師の職業選択を強化した要因  
吹野 信浩（米子北高等学校看護科）
- 7-2-3 学校保健実習を経験した保健師が認識する学校保健実習の意義  
廣金 和枝（兵庫医療大学 看護学部）
- 7-2-4 A大学におけるオンラインと対面演習を組み合わせたハイブリッド公衆衛生看護学実習の実践報告  
河端 三恵子（藍野大学）
- 7-2-5 保健師教育課程選択学生の地域診断実習の過程からの学び  
―過去4年間の地域診断演習・実習記録からの抽出―  
佐々木 純子（香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科）

## 7-2-6 卒業時の到達目標の学生自己評価による保健師教育の評価

関 美雪 (埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科)

## 7-2-7 看護系大学生における子育ての社会化志向と関連要因の検討

浅井 祥子 (神戸大学大学院保健学研究科)

## 8 現任教育1

座長：山口 佳子 (東京家政大学)

### 8-1-1 地域包括支援センター保健師の介護予防に必要な地域看護実践能力の実態

和田 恵子 (名古屋市中区いきいき支援センター)

### 8-1-2 新型コロナウイルス感染症流行下における新任期保健師の健康関連QOLと職務満足度

多田 美由貴 (徳島大学)

### 8-1-3 A県市町の管理期保健師がとらえた新人保健師の傾向と現任教育における関わり

塩澤 百合子 (獨協医科大学看護学部)

### 8-1-4 アセスメント力向上を目指した事例検討(第1報)

－管理期・プリセプター・新任期がともに育ち合う研修の企画評価－

塩川 幸子 (旭川医科大学医学部看護学科)

### 8-1-5 アセスメント力向上を目指した事例検討(第2報)

－アクションリサーチによる母子事例の質問分析を通して－

山下 千絵子 (北海道科学大学保健医療学部看護学科)

### 8-1-6 アセスメント力向上を目指した事例検討(第3報)

－アクションリサーチによる高齢者事例の質問分析を通して－

藤井 智子 (旭川医科大学医学部看護学科)

## 8 現任教育2

座長：山口 忍 (茨城県立医療大学)

### 8-2-1 市町村中堅期保健師の経験年数と新任期保健師育成に関する相談頻度の関連

斉藤 瑛梨 (茨城県立医療大学 保健医療学部 看護学科)

### 8-2-2 大学が外向く市町村保健師との「事例検討会」の試み

田場 真由美 (公立大学法人名桜大学人間健康学部看護学科/名桜大学大学院看護学研究科)

### 8-2-3 新任保健師研修参加者における専門的能力の獲得： 「標準的なキャリアラダー」による評価(第一報)

石崎 順子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科)

8-2-4 新任保健師研修参加者における専門的能力の獲得：  
現任教育体制・就労環境との関連(第二報)

服部 真理子(埼玉県立大学保健医療福祉学部)

8-2-5 新型コロナウイルス感染症患者のQOL維持・向上に向けた、  
教育担当者と新人看護師の関わり

尾関 貴昭(藤田医科大学病院看護部)

## 9 親子保健・福祉1

座長：都筑 千景(大阪府立大学)

9-1-1 全身性エリテマトーデス(SLE)女性療養者の療養と育児における体験

菊田 咲也香(札幌西円山病院/天使大学看護栄養学専攻科)

9-1-2 幼児の生活習慣の形成における母親の葛藤

高田 英里華(天使大学大学院修了生)

9-1-3 特定妊婦の子ども虐待を予防するための保健師による支援の検討

内村 利恵(神戸大学大学院保健学研究科)

9-1-4 乳幼児の母親におけるストレス対処時のインターネット活用状況による特徴比較  
—オンライン孤独感軽減プログラム開発に向けて—

有本 梓(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野)

9-1-5 新型コロナウイルス感染拡大に伴う地域の子育て支援サービス利用に関連する  
影響

—乳幼児を育児中の母親の視点から—

鈴木 浩子(昭和大学保健医療学部看護学科)

9-1-6 育児中の母親の健診受診有無別の就労と育児状況の比較

縞谷 絵理(東京都立大学健康福祉学部看護学科)

9-1-7 挙児希望期からの保健師支援についての検討

—不妊治療現場からの報告—

浅井 麻利子(三慧会IVFなんばクリニック)

## 9 親子保健・福祉2

座長：臺 有桂(神奈川県立保健福祉大学)

9-2-1 ヤングケアラー・精神疾患の親をもつ子どもが必要とする支援

田野中 恭子(佛教大学保健医療技術学部看護学科)

9-2-2 乳幼児手形アートの作品づくりと母親の心理的特性との関連

藤田 麻理子(広島大学大学院)

- 9-2-3 新型コロナウイルス感染症拡大下における母子保健医療サービスの提供状況と医療従事者の感じる子育て世代への影響の実態調査  
佐々木 由佳（兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 周産期ケア研究センター）
- 9-2-4 発達障害(疑い含む)の幼児をもつ母親の育児困難感と保健師の支援に関する文献レビュー  
笠 真帆（順天堂大学大学院医療看護学研究科博士前期課程）
- 9-2-5 発達障害のある女性の妊娠から育児期の経験—自由記述を基にした計量テキスト分析  
小林 孝子（滋賀県立大学）
- 9-2-6 日本におけるSolution Focused Approach(SFA)に関する文献検討  
小林 恵子（新潟大学大学院保健学研究科）
- 9-2-7 乳幼児期のサポートファイル活用の工夫と課題についての文献検討  
西本 絵美（聖カタリナ大学）

## 9 親子保健・福祉3

座長：麻生 保子（国立保健医療科学院）

- 9-3-1 3歳児健診における携帯型他覚的屈折検査装置(SVS)導入の効果  
佐藤 由美子（江別市健康福祉部健康推進室保健センター）
- 9-3-2 市町村保健師による産後の支援の必要性を見越した妊娠期から継続した支援-妊娠期から継続して支援が必要となる妊婦の実態-  
岡本 美和（岐阜県立看護大学）
- 9-3-3 親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”参加者のママ友との関係に関する満足度への影響要因  
岩永 春菜（大阪市北区保健福祉センター）
- 9-3-4 幼児を持つ母親の育児感情の実態-新型コロナウイルス感染症に伴う生活環境の変化、メンタルヘルスに焦点をあてて-  
丸山 美虹（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科）
- 9-3-5 産後の訪問指導に対するニーズとその効果～文献レビューによる考察～  
山田 優衣（京都橘大学）
- 9-3-6 継続的な子育て支援における保健師と親との対話  
-対話を続けていく保健師の技-  
山本 真実（浜松医科大学 医学部 看護学科）

## 9 親子保健・福祉4

座長：関 美雪（埼玉県立大学）

- 9-4-1 親を対象とした家庭内性教育を支援するプログラム開発に関する国内外の文献レビュー  
市戸 優人（札幌市立大学）
- 9-4-2 母子保健業務に携わる保健師の地区活動の現状  
—家族支援の視点から—  
松坂 由香里（神奈川県立保健福祉大学）
- 9-4-3 「育てにくさ」を感じている親と子を継続支援する上での市町村保健師の思い  
須田 由紀（山梨県立大学看護学部）
- 9-4-4 就学前の子どもを育てる親の子育て支援サービスの利用状況と個人的背景の  
関連に関する一考察  
川崎 千恵（長野保健医療大学）
- 9-4-5 1歳6か月児健康診査において要フォローと判断された児の  
乳幼児医療費助成制度の利用状況  
村尾 奈津子（鳥根県雲南市役所）
- 9-4-6 3歳児を養育する母親の育児課題の対応における人的およびデジタルリソースへの  
依拠と孤独感の関連  
大西 竜太（北海道大学大学院保健科学研究院）

## 9 親子保健・福祉5

座長：神崎 由紀（山梨大学大学院）

- 9-5-1 乳児を養育する母親の不安や気がかり解消を目的としたスマートフォン使用による  
心理面への影響  
刀稱 華未（北海道大学大学院保健科学院）
- 9-5-2 発達障害児と家族の継続支援に際する保健師によるアセスメント過程  
～3歳児健診での気づきから支援にかけて～  
藤田 碧（秋田看護福祉大学看護学科）
- 9-5-3 療育通園中の幼児をもつ保護者が希望するライフサポートファイル  
藤田 千春（杏林大学保健学部看護学科）
- 9-5-4 母子手帳交付時の妊婦保健指導における熟練保健師の思考に関する研究  
陶山 公子（富山大学学術研究部）
- 9-5-5 山間過疎地域に夫婦で移住した未就学児を育てる母親が予期していなかった  
育児経験  
美濃羽 冴子（東栄町役場）

## 9-5-6 援助要請行動のない対象への保健師の支援過程

－母子保健の家庭訪問に着目して－

北野 有理（南足柄市役所健康づくり課）

## 9 親子保健・福祉6

座長：田口（袴田） 理恵（共立女子大学）

### 9-6-1 両親学級参加と産後の心境の変化および育児状況との関連

末村 麻子（大阪市旭区保健福祉センター）

### 9-6-2 児童相談所への保健師配置の意義と保健師への支援課題

鎌倉 由起（杉並区杉並保健所／全国保健師長会 健やか親子特別委員）

### 9-6-3 子どもの貧困を支援する保健師を支える組織的サポートの役割

喜多 歳子（札幌市立大学）

### 9-6-4 支援が必要な母親に対する支援力向上研修受講前後の保健師の変化

佐藤 睦子（淑徳大学看護栄養学部／大阪府立大学大学院看護学研究科）

### 9-6-5 「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ」事業報告

永井 春歌（大阪市住吉区保健福祉センター）

### 9-6-6 保健師における発達障害児の行動特性の捉えと支援の実態

－学齢期発達障害児の3歳児健診結果からの検証－

横山 三千代（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻／金沢大学医薬保健研究域保健学系）

## 10 成人保健

座長：豊島 泰子（大阪青山大学）

### 10-1 豊橋市における健康経営推進体制の課題整理及び方向性の検討

朝倉 克郎（豊橋市保健所）

### 10-2 Y区における子育て世代の女性がん検診受診と知識の関連性

藤井 美里（淀川区役所）

### 10-3 特定健診受診者の主観的咀嚼能力とHbA1cとの関連

佐藤 愛（大分県立看護科学大学）

### 10-4 成人期の生活困窮者への保健師の支援内容

林 孝子（長岡市福祉保健部長寿はつらつ課）

### 10-5 農村地域の生活上の負担感及び飲酒動機と飲酒の関連

村山 麻希（札幌市役所）

- 10-6 自治体で行うがん検診において保健師と事務職員が役割を発揮する仕組みづくり  
前田 由希子 (成田市健康こども部健康増進課)
- 10-7 女性の検(健)診受診行動とその関連要因に関する文献検討  
波多野 知英子 (新潟大学大学院保健学研究科 博士前期課程)

## 11 高齢者保健・福祉1

座長：矢庭 さゆり (新見公立大学)

- 11-1-1 認知症早期支援のための包括的な体制づくり：  
事業を委託する自治体保健師の取り組みから  
安田 貴恵子 (長野県看護大学)
- 11-1-2 A市におけるロコモティブシンドロームとその関連要因  
横山 加奈 (愛知県立大学看護学部)
- 11-1-3 おっくうと感じている地域高齢者の外出状況の縦断的变化  
水口 和香子 (旭川医科大学医学部看護学科)
- 11-1-4 新型コロナウイルス感染症流行下における介護予防の推進  
三谷 真穂 (大阪市大正区保健福祉センター)
- 11-1-5 新型コロナウイルス感染症流行下における高齢者の体力測定結果の変化  
清水 直子 (大阪市福祉局地域包括ケア推進課)
- 11-1-6 離島在住自立高齢者の健康管理の実態  
久好 初恵 (HINT)

## 11 高齢者保健・福祉2

座長：小林 和成 (岐阜大学)

- 11-2-1 要支援および軽度要介護高齢者の抑うつとソーシャルサポートレベルの関係  
汪 曉蓓 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)
- 11-2-2 地方高齢者の交流アプリケーションによる心理社会的側面のフレイル予防の効果  
—社会活動プログラムの定量的アウトカム評価より—  
菊地 眞海 (北海道大学大学院保健科学院)
- 11-2-3 高齢者の退院支援における地域包括ケア病棟看護師と介護支援専門員の  
連携活動の実態と認識の特徴  
坂本 幸恵 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻)
- 11-2-4 特別豪雪地帯・山村過疎地域における高齢者の在宅看取りの可能性  
—終末期在宅療養希望の有無と在宅看取りの関連因子—  
小山 歌子 (新潟医療福祉大学)

11-2-5 健康情報の入手媒体による地域在住高齢者のヘルスリテラシーの特徴

石附 史帆（北海道大学大学院保健科学院）

11-2-6 70歳健康チェック訪問事業により把握された地方都市在住高齢者における健康の社会的側面の実態と課題

中野 杏（恵庭市役所）

## 11 高齢者保健・福祉3

座長：浜崎 優子（佛教大学）

11-3-1 東京都千代田区在住者のアドバンスケアプランニングに関する実態調査  
～他特別区在住者との比較検討～

田口（袴田） 理恵（共立女子大学 看護学部）

11-3-2 新型コロナウイルス感染症流行下における個別相談「ミニ健康度チェック」を通したフレイル予防の取り組み

福井 美奈子（恵庭市役所）

11-3-3 コロナ禍における在宅福祉員による地域高齢者の見守り活動～感染拡大防止による活動休止前と再開後の比較～

徳嶋 靖子（鳥取大学医学部保健学科）

11-3-4 地域で生活する高齢者の通いの場でのボランティア活動の意欲と保健事業利用・ソーシャルキャピタルとの関連

中谷 芳美（福井県立大学）

11-3-5 大阪市における週1回以上の「いきいき百歳体操」への継続参加が要介護度と介護給付費にもたらす効果

齋藤 和美（大阪市健康局健康推進部健康施策課）

## 11 高齢者保健・福祉4

座長：関口 敏彰（森ノ宮医療大学）

11-4-1 地域包括支援センターにおける業務上の課題に関するインタビュー調査

永井 智子（目白大学看護学部／聖路加国際大学大学院看護学研究科／鹿児島大学医学部）

11-4-2 高齢男性介護者と支援を結ぶ方策  
－介護者の会に参加する男性介護者の語りから－

長澤 ゆかり（国際医療福祉大学）

11-4-3 北海道胆振東部地震後の高齢者の災害の知識・意識と備えの関連

西 玲美（札幌市役所）

11-4-4 元気高齢者の人生の最終段階における医療・ケアの意思決定と医療関連知識との関連

安孫子 尚子（人間環境大学大学院看護学研究科／聖泉大学看護学部看護学部）

11-4-5 在宅生活を支える地域包括支援センターにおける運営形態によるストレス対処行動/職務満足度の関連

古賀 佳代子（福岡大学医学部看護学科）

## 12 精神保健・福祉

座長：前野 有佳里（九州大学大学院）

12-1 親亡き後の精神障がい当事者の経験

山下 尚子（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター／前大阪大学医学部保健学科）

12-2 地域生活を継続している精神障がい者の生活実態

神崎 明奈（訪問看護ステーション north-ACT）

12-3 摂食障害の予防に関する知識と摂食障害傾向の関連について

實盛 芹奈（岡山県立大学大学院）

12-4 看護者対対象者の2者関係に基づく地域生活集団を対象とした看護モデルの開発－精神障がい者の支援事例からの検討－

山田 洋子（岐阜県立看護大学）

## 13 感染症保健

座長：伊藤 美樹子（滋賀医科大学）

13-1 地域DOTSにおける保健師と関係者との連携による高齢結核患者への服薬支援

唐井 奈那子（名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻）

13-2 複数飲食店常連客からの結核感染拡大事例

塩谷 佐紀子（大阪市平野区保健福祉センター）

13-3 新型コロナウイルス感染患者受け入れにおける医療職者の感染予防の取り組み

横山 利広（藤田医科大学病院）

13-4 外国人留学生在が在籍する学校における結核集団感染事例

今村 理恵（大阪市保健所 感染症対策課）

13-5 コロナ禍における感染予防対策に関する実態調査研究

－マスクの着用と咳エチケット－

乾 愛（株）ニッセイ基礎研究所）

- 13-6 外国人結核患者を支援する通訳者は何をしているのか  
- 通訳者の結核療養支援の可視化の試み(第一報) -  
座間 智子(公益財団法人 結核研究所)
- 13-7 外国人結核患者への支援～保健所と診療所外来とのDOTS会議を通して～  
永田 容子(公益財団法人結核予防会結核研究所)

## 14 障害者保健・福祉(難病・発達支援含む)

座長: 有馬 志津子(甲南女子大学)

- 14-1 地域包括ケアシステム推進にむけた難病患者及び家族を支援する上での課題明確化のためのヒアリング調査  
山縣 史果(寝屋川市保健所 健康部 保健予防課)
- 14-2 難病患者への就労支援の課題  
嶋田 尚美(豊橋市保健所こども保健課)
- 14-3 ALS患者の意思決定における保健師の支援内容に関する文献検討  
今村 円香(新潟大学大学院保健学研究科)
- 14-4 生活保護担当課保健師の個別支援における援助ニーズの優先度の判断と援助提供方法の選択の特徴  
田村 須賀子(富山大学学術研究部医学系)
- 14-5 在宅で生活する慢性期頸髄損傷者における健康課題解決のための要件  
米井 裕子(放送大学教養学部選科履修生)
- 14-6 発達障害をもつ子どもの就学先の選択における母親の体験  
金澤 里咲(札幌市役所/天使大学)
- 14-7 特別支援教育従事者からみた発達障害児および発達障害が疑われる児の小学校就学に伴う支援課題と市町村保健師の役割への期待  
矢島 正榮(群馬バース大学)

## 15 学校保健

座長: 廣金 和枝(兵庫医療大学)

- 15-1 沖縄県A村12歳児のDMFT経年推移～フッ化物洗口とDMFT、う蝕有病率～  
松田 智見(南大東村役場)
- 15-2 学校で行われている自殺予防教育についての文献検討  
桑野 友希(豊中市立克明小学校/前大阪大学医学部保健学科)
- 15-3 養護教諭が考える職務に関連する学校組織の要因  
浦口 真奈美(聖路加国際大学)

15-4 小学校の慢性疾患管理における学校生活管理指導表の活用実態

竹中 香名子 (名古屋学芸大学ヒューマンケア学部)

16 産業保健

座長：渡井 いずみ (浜松医科大学)

16-1 就労支援リハビリテーションプログラムにおける看護師の役割  
—回復期リハビリテーション病院における就労支援—

寺園 茜 (一般社団法人巨樹の会 五反田リハビリテーション病院)

16-2 産業看護職による生活習慣病予防・改善を目的とした睡眠保健指導の実態と  
その関連要因

津村 美里 (神戸大学大学院保健学研究科)

16-3 産業看護職が捉えている「子育てと仕事を両立している母親の力」

和田 直子 (新潟医療福祉大学)

16-4 労働者を対象にした健康相談室の環境ニーズ調査  
～植物を活用した環境設定の心理的印象評価～

佐藤 幸子 (元国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科)

16-5 若年性認知症者の一般就労継続支援における連携の実態  
—若年性認知症支援コーディネーターの連携—

濱田 珠里 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)

16-6 ワーク・ファミリー・エンリッチメントに関する文献レビュー

佐竹 智子 (東北大学大学院 医学系研究科)

17 国際保健

座長：川崎 千恵 (長野保健医療大学)

17-1 保健師が行う在留外国人に対する保健指導

水田 明子 (鹿児島大学医学部保健学科地域包括看護学講座)

17-2 日本で暮らす外国にルーツを持つ子ども・子育て支援サイトの利用度と有用性

森山 ますみ (福岡国際医療福祉大学看護学部)

18 その他

座長：西嶋 真理子 (愛媛大学)

18-1 福祉から就労プログラムに参加する健康上の課題を抱える公的扶助利用者への支援：  
米国の貧困家庭一時扶助制度見学を通じての学び

谷山 牧 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部)

- 18-2 コロナ禍に国外の看護系大学で行われた研究レビュー  
倉橋 悠子（湘南医療大学）
- 18-3 生活困窮者に対する健康支援・保健師活動に関する文献検討  
木村 夏紀（国際医療福祉大学大学院）
- 18-4 いわゆる困難事例における困難の定義とその特徴に関する文献検討  
-地域で多問題を抱え生活する住民への支援に焦点をあてて-  
坂東 志乃（宮城大学看護学群）



# 人名索引

## H

Holland, Amanda S-2

## I

Iwuagwu, Stella S-2

## K

Koslap-Petraco, Mary S-2

## P

Park, Dosoon S-2

## ア

会沢 紀子 8-1-3  
 合田 奈央 4-1  
 青崎 聖花 **3-2**  
 青柳 道子 4-1  
 赤星 琴美 5-1-2, 10-3  
 阿川 勇太 4-2  
 吾郷美奈恵 9-4-5  
 浅井 祥子 **7-2-7, WS-3**  
 浅井麻利子 **9-1-7**  
 朝倉 克郎 **10-1**  
 麻原きよみ **L-3**  
 麻生 保子 WS-2  
 芦達麻衣子 WS-5  
 安孫子尚子 **11-4-4**  
 安部 仁美 5-1-6, 5-1-7  
 阿部 宏史 **1-2, 7-2-4**  
 阿部礼以亜 9-6-2  
 雨宮 有子 **5-3-4, 5-3-5, 5-3-6**  
 綾部 明江 8-2-1  
 荒木田美香子 9-5-3, 15-4, 16-4,  
 17-2, **WS-1**  
 有本 梓 **9-1-4**  
 安斉 智子 **S-1**  
 安齋由貴子 **5-4-4, 18-4**  
 安藤はるか 8-1-3

## イ

飯塚ちひろ 1-1  
 飯野 理恵 10-6  
 伊木 智子 WS-14, WS-17  
 伊草 綾香 7-2-6, 8-2-3, 8-2-4  
 生田 英輔 **Q-9**  
 井口 理 **5-1-6, 5-1-7, 5-3-4,**  
 5-3-5, 5-3-6  
 井倉 一政 WS-15, **WS-19**  
 池内 里美 9-3-4, 11-2-1, 16-5  
 池上麻衣子 5-2-4  
 石井 光太 **L-6**  
 石井美由紀 9-3-5  
 石川 富恵 5-3-2  
 石崎 順子 7-2-6, **8-2-3, 8-2-4**  
 石崎 宵子 3-2  
 石附 史帆 **11-2-5**

石堂 双葉 WS-5  
 石橋みゆき 5-3-4, **5-3-5, 5-3-6**  
 和泉 京子 5-1-3, 5-3-1, 9-6-1  
 和泉比佐子 5-4-6, 16-2, **WS-17**  
 磯 博康 **L-5E**  
 磯村 聡子 5-4-1  
 板垣 昭代 8-1-3  
 伊丹 幸子 **6-4**  
 市川 定子 9-6-2  
 市戸 優人 **9-4-1**  
 一色 喜保 WS-9  
 井出 浩一 5-4-5  
 伊藤 千春 **1-1**  
 伊藤 裕子 11-1-2  
 伊藤 弘美 **5-3-1**  
 乾 愛 **13-5**  
 井上 幸子 12-3  
 井上 智代 7-1-3  
 猪股 久美 7-1-2  
 今村 円香 **14-3**  
 今村 理恵 **13-4**  
 野入 了士 WS-14  
 岩永 春菜 **9-3-3**  
 岩本 里織 5-2-1, **5-3-3, 6-2,**  
**WS-14, WS-17,**  
 WS-18

## ウ

植原 千明 7-2-5  
 牛尾 裕子 5-4-1  
 牛島 典子 7-2-1  
 氏原 将奈 **5-4-5**  
 宇田 瑛子 11-1-4  
 宇田 優子 11-2-4  
 内村 利恵 7-2-7, **9-1-3**  
 梅津 美香 12-4  
 浦井 史恵 WS-4  
 浦口真奈美 **15-3**

## エ

江口 晶子 15-4  
 江角 伸吾 5-3-4, 5-3-5, 5-3-6  
 榎本 晃子 1-4, 11-3-1  
 遠藤 雅幸 WS-1  
 遠藤 真澄 5-3-3, 6-2

## オ

汪 曉蓓 9-3-4, **11-2-1**  
 大井 靖子 12-4  
 大内 直樹 8-2-5  
 大岡 智子 13-2  
 大木 幸子 WS-12, WS-14  
 大河内彩子 **6-3, 7-1-4**  
 大島亜友美 9-3-6  
 大田 景子 **5-1-1**  
 大西 聖子 5-1-1

大西 竜太 **9-4-6, 9-5-1, 11-2-2,**  
 11-2-6, 11-3-2  
 大野美賀子 9-5-2  
 大羽 詩織 9-5-2  
 大濱 麻莉 **4-3**  
 尾形 佳代 5-2-4  
 岡田 志保 9-4-5  
 岡田 睦美 **WS-12**  
 岡野 明美 **6-6, WS-16**  
 岡久 玲子 5-2-2, 8-1-2  
 岡本 美和 **9-3-2**  
 岡本 理恵 9-3-4, 9-6-6, 11-2-1,  
 11-2-3, 16-5  
 岡本 玲子 17-1, **L-1E, WS-1,**  
**WS-18**  
 奥田 博子 5-3-4, 5-3-5, 5-3-6  
 奥野みどり 14-7  
 尾崎美恵子 1-1  
 小澤 涼子 9-1-1, 9-1-2, 10-5,  
 11-4-3, 12-2, 14-6  
 尾島 俊之 5-4-3, 17-1  
 尾関 貴昭 **8-2-5**  
 小野 治子 5-1-2, 10-3  
 小野若菜子 2-2, 11-4-1  
 尾原ゆり子 9-6-1  
 表 志津子 9-3-4, 9-6-6, 11-2-1,  
 11-2-3, 16-5  
 小山 千秋 WS-9

## カ

貝沼まりや WS-10  
 薩山 正子 12-1, 15-2, WS-18  
 河西あかね WS-13  
 加藤 則子 **Q-10**  
 加藤美保子 17-1  
 金澤 里咲 **14-6**  
 金森 弓枝 6-3, **7-1-4**  
 金谷 志子 5-1-3, 5-3-1, WS-17  
 金田由紀子 7-2-2  
 鎌倉 由起 **9-6-2**  
 鎌田久美子 WS-7  
 神庭 純子 1-1  
 亀井 緑 17-2  
 唐井奈那子 **13-1**  
 川口紗菜恵 11-1-4  
 川崎 千恵 **9-4-4**  
 川島菜々子 5-4-5  
 河端三恵子 **7-2-4**  
 河原 智江 1-4, 11-3-1  
 神崎 明奈 **12-2**

## キ

菊田咲也香 **9-1-1**  
 菊地 眞海 **11-2-2**  
 岸 恵美子 3-1  
 木嶋 彩乃 5-1-2, 10-3, WS-7  
 喜多 歳子 9-4-1, **9-6-3**

北岡 英子 7-1-5, 7-1-6  
 北川真利江 14-1  
 北野 有理 9-5-6  
 木村 夏紀 18-3  
 桐生 育恵 14-7

ク

草野恵美子 3-2, WS-14, WS-18  
 工藤 恵子 7-1-2  
 工藤 禎子 5-1-4  
 久保 怜音 WS-3  
 窪田 志穂 WS-9  
 倉橋 悠子 5-2-3, 18-2  
 黒淵安紀子 5-3-2  
 桑野 友希 15-2

コ

小出 恵子 WS-18  
 合田加代子 WS-18  
 河野あゆみ 5-1  
 神戸 愛 8-1-6  
 聲高 英代 WS-18  
 古賀佳代子 11-4-5, WS-16  
 小崎 恭弘 4-2  
 小寺さやか 7-2-7  
 小西恵美子 11-4-1  
 小西かおる 9-3-3  
 小林亜由美 14-7  
 小林 恵子 7-1-3, 9-2-6, 10-4, 10-7, 14-3  
 小林 孝子 9-2-5  
 小林奈緒子 WS-16  
 小林 紀明 5-2-3  
 五味 麻美 17-2  
 小宮山恵美 WS-2  
 小山 歌子 11-2-4  
 昆 悠紀子 3-1  
 近藤 圭子 9-6-3

ク

斉藤恵美子 9-1-6, WS-15  
 斉藤 瑛梨 8-2-1, WS-9  
 齊藤 和美 11-1-5, 11-3-5  
 斉藤富美代 WS-13  
 斎藤美矢子 5-4-1  
 佐伯 和子 9-4-6, WS-15  
 酒井久美子 11-1-1  
 坂口 里美 7-1-7  
 坂部 敬子 11-3-4  
 坂本真理子 WS-1  
 坂本 幸恵 9-6-6, 11-2-3  
 櫻井しのぶ 9-2-4  
 櫻井 蘭子 9-6-3  
 佐々木純子 7-2-5  
 笹木 智香 11-2-5  
 佐々木麻衣 2-1  
 佐々木由佳 9-2-3

佐々木亮平 5-1-5  
 佐竹 智子 16-6  
 佐藤 愛 5-1-2, 10-3  
 佐藤 愛子 2-2  
 佐藤 幸子 16-4  
 佐藤 太地 5-4-5, WS-10  
 佐藤 春香 3-1  
 佐藤 仁瑛 1-4  
 佐藤 文子 7-2-4  
 佐藤 美樹 1-4, 11-3-1, WS-2  
 佐藤 睦子 9-6-4  
 佐藤 泰啓 18-4  
 佐藤由美子 9-3-1  
 佐野 ゆり 2-1  
 座間 智子 13-6, 13-7, WS-8  
 三場 知香 14-1

シ

塩川 幸子 6-1, 8-1-4, 8-1-5, 8-1-6  
 塩澤百合子 8-1-3  
 塩見 美抄 WS-18  
 塩谷佐紀子 13-2  
 重松美智子 WS-17  
 豊盛 芹奈 12-3  
 柴 珠実 9-5-2  
 嶋田 尚美 14-2  
 島田 裕子 5-3-4, 5-3-5, 5-3-6  
 島田 美喜 5-4-3  
 縞谷 絵理 9-1-6  
 島袋 尚美 8-2-2  
 島本さと子 WS-4  
 清水 信輔 1-4, 11-3-1  
 清水 直子 11-1-5, 11-3-5  
 清水 洋子 WS-6  
 清水 美子 9-6-5  
 志村いづみ WS-16  
 下田 優子 9-3-5  
 下村 聡子 11-1-1  
 謝 海棠 17-2  
 城 諒子 12-4

ス

末田 千恵 7-1-5, 7-1-6  
 末村 麻子 9-6-1  
 菅野 恵美 WS-5  
 菅原 京子 WS-6  
 杉田由加里 10-6  
 杉山 希美 11-1-2  
 鈴木 純子 WS-9  
 鈴木 秀樹 5-2-3  
 鈴木 浩子 9-1-5  
 鈴木美佐子 14-1  
 鈴木 美和 WS-14  
 鈴木 良美 WS-13  
 鈴木るり子 5-1-5  
 須田 由紀 9-4-3

砂原 雅美 7-1-1  
 陶山 克洋 5-2-3  
 陶山 公子 9-5-4

セ

瀬尾なつみ 13-3  
 関 美雪 7-2-6, 8-2-3, 8-2-4

ソ

曾我 智子 WS-16

タ

臺 有柱 9-5-3  
 大黒 美渚 WS-11  
 高木 悦子 4-2  
 高崎 正子 Q-1  
 高島 理沙 11-2-2  
 高田英里華 9-1-2  
 高橋 郁子 7-1-2  
 高橋 みね WS-5  
 高橋 峰子 9-6-5  
 高橋 美保 1-4, 11-3-1  
 高橋 勇太 Q-7, WS-1  
 高橋裕太郎 9-3-4, 9-6-6, 11-2-1, 11-2-3, 16-5  
 高橋由美子 5-2-4  
 滝澤 寛子 WS-14  
 田口(袴田) 理恵 1-4, 11-3-1  
 竹中香名子 15-4  
 多田美由貴 5-2-2, 8-1-2  
 田高 悦子 9-1-4  
 巽 あさみ 11-4-4  
 田中 明美 5-1  
 田中 美帆 WS-1, WS-18  
 田中 裕子 5-1-4  
 田仲 里江 9-6-3  
 谷口瑠美子 WS-12  
 谷山 牧 18-1, 18-3  
 田野中恭子 9-2-1  
 田場真由美 8-2-2  
 田村須賀子 11-1-1, 12-4, 14-4  
 田村 晴香 WS-9

ツ

辻 よしみ 7-2-5  
 辻井 敦子 11-1-4  
 辻本 春奈 9-1-3  
 都筑 千景 9-6-4  
 堤 典江 5-2-1  
 坪井あやか 5-2-4  
 津村 美里 16-2, WS-3  
 鶴田 華恋 5-4-2

テ

寺園 茜 16-1  
 寺本 健太 18-3, WS-10

ト

當山ちひろ 8-2-2  
 徳嶋 靖子 11-3-3  
 徳永 京子 WS-19  
 刀桐 華未 9-5-1  
 富塚 美和 7-1-5, 7-1-6  
 戸渡 洋子 WS-9

ナ

直井 晴美 5-2-4  
 名嘉飛呂野 5-1-2  
 永井 潤子 WS-16  
 永井 智子 11-4-1, WS-9  
 永井 春歌 9-6-5  
 永石真知子 13-2, 13-4  
 長尾 祐子 5-3-2  
 中川 武子 7-1-7  
 中里 早苗 4-4  
 長澤ゆかり 11-4-2  
 中島富志子 8-2-1, WS-9  
 永田 容子 13-6, 13-7, WS-8  
 中谷 久恵 9-2-2  
 中谷 芳美 11-3-4  
 長沼 由佳 WS-10  
 中野 杏 11-2-6, 11-3-2  
 中野 紗織 5-2-2, 8-1-2  
 仲野由香利 9-5-2  
 仲間いずみ 9-6-5  
 永見 徹 WS-17  
 永峯 優子 9-6-2  
 中村富美子 WS-12  
 中村 安秀 L-4E  
 中村有美子 7-1-1  
 中山貴美子 5-4-6  
 成田 太一 7-1-3, 9-2-6  
 難波 峰子 7-1-1

ニ

西 玲美 11-4-3  
 西崎 未和 1-4  
 西嶋真理子 9-5-2  
 西村 雅世 9-3-3  
 西村 康子 5-2-1  
 西本 絵美 9-2-7  
 二田水 彩 17-2

ネ

根来佐由美 4-3  
 根間 京子 8-2-2

ノ

野口 悦子 9-6-2  
 野口 緑 Q-6  
 野口 悠子 14-1  
 野尻 由香 8-1-3  
 野村 陽子 WS-7

ハ

芳我ちより WS-12  
 橋本 雅美 5-2-4  
 長谷川美香 WS-14  
 長谷川由希子 WS-4  
 畑中あかね 5-2-1  
 波多野知英子 10-7  
 波多野浩道 7-2-4  
 服部真理子 7-2-6, 8-2-3, 8-2-4  
 鳩野 洋子 5-4-2, 5-4-3  
 羽根坂日和 9-5-1  
 浜崎 優子 2-3  
 瀧田 珠里 16-5  
 瀧野 芳江 WS-15  
 林 孝子 10-4  
 林 知里 9-2-3  
 葉山 亮子 13-2  
 春山 早苗 5-3-4, 5-3-5, 5-3-6,  
 5-4-4  
 坂東 志乃 18-4

ヒ

比嘉 憲枝 8-2-2  
 久好 初恵 11-1-6  
 日向 安子 4-4  
 平野美千代 9-4-6, 11-2-2, 11-2-5  
 廣金 和枝 7-2-3  
 廣田 幸子 14-7  
 廣野 美穂 5-3-2

フ

深川 周平 4-1  
 深津 恵美 6-1, WS-13  
 吹野 信浩 7-2-2  
 福井美奈子 11-2-6, 11-3-2  
 福永 優奈 14-1  
 福永 淑江 WS-5  
 福本久美子 7-1-7  
 藤井 可苗 7-1-1  
 藤井智恵子 7-2-1  
 藤井 智子 6-1, 8-1-4, 8-1-5,  
 8-1-6, 11-1-3  
 藤井 広美 WS-13  
 藤井 美里 10-2  
 藤岡 神奈 5-2-1, 5-3-3, 6-2  
 藤崎 万裕 16-6  
 藤田 千春 9-5-3, 15-4, 18-1  
 藤田麻理子 9-2-2  
 藤田 碧 9-5-2  
 藤富絵里香 WS-10  
 伏見 光加 5-3-2  
 藤村 一美 6-3, 9-5-2  
 藤本 公恵 WS-16  
 藤本有佳子 5-2-5  
 洲田英津子 13-1  
 古川 智美 1-3

古田加代子 9-5-5, 11-1-2

ホ

星 翼 WS-10  
 星野 典子 9-6-2  
 穂積由紀江 WS-4  
 保母 恵 18-1, 18-3, WS-16  
 堀 里奈 12-4  
 本田 晶子 9-4-5  
 本田 光 9-6-3  
 本多 麻耶 11-2-5

マ

前田由希子 10-6  
 牧野 忍 10-1, 14-2  
 増野 園恵 9-2-3  
 松浦 和代 5-2-5  
 松浦 治代 7-2-2  
 松浦 仁美 9-5-2  
 松坂由香里 9-4-2  
 松下 光子 12-4  
 松下 恭子 5-2-2, 8-1-2  
 松田 智見 15-1  
 松田 宣子 9-1-3  
 松田 有子 WS-1  
 松永 篤志 16-6  
 松原美智子 WS-14  
 松本 明美 2-1  
 松本 珠美 L-2  
 の場 由木 WS-15  
 丸岡 綾子 5-2-4  
 丸谷 美紀 WS-2  
 丸山 美虹 9-3-4, 11-2-1

ミ

御小柴朋子 WS-12  
 御子柴裕子 11-1-1  
 水川真理子 5-2-1, 5-3-3  
 水口和香子 8-1-6, 11-1-3  
 水田 明子 17-1  
 水野 睦美 5-3-2  
 三谷 真穂 11-1-4  
 三橋 静香 9-6-2  
 三橋 祐子 WS-4  
 三森 寧子 7-2-3, 15-3  
 南 朗子 7-2-4  
 美濃羽冴子 9-5-5  
 宮成 優子 WS-11

ム

村井 心み 11-1-1  
 村尾奈津子 9-4-5  
 村上祐里香 5-4-1  
 村嶋 幸代 5-1-2, WS-7  
 村山 麻希 10-5  
 室 詩織 5-1-3  
 室山 孝子 WS-13

**モ**

持田 恵理 17-2  
 望月聡一郎 5-2-3, 18-2  
 望月 麻衣 7-2-1  
 本村 純 8-2-2  
 森 友規 5-2-5  
 森田 誠子 11-4-1, **WS-15**  
 森永 朗子 WS-16  
 森山ますみ 17-2

**ヤ**

矢川果南子 11-2-5  
 八木 敬子 13-2  
 矢島 正榮 14-7  
 安田真恵子 11-1-1, 12-4, 14-4  
 柳澤 理子 9-5-5, 11-1-2  
 柳澤 尚代 **WS-6**  
 柳澤 杏衣 11-1-5, 11-3-5  
 山内麻由美 5-2-4  
 山内美代子 5-3-2  
 山縣 史果 14-1  
 山口 忍 8-2-1  
 山口 理恵 WS-4  
 山崎 初美 **Q-8**  
 山崎 真帆 5-2-3, **WS-9**  
 山崎 洋子 11-1-1  
 山崎 洋子 6-4, 14-4  
 山下 愛 11-2-5  
 山下 正 5-3-3, **6-2**  
 山下千絵子 **8-1-5**, 8-1-6  
 山下 尚子 12-1  
 山下留理子 18-1, WS-13  
 山田 小織 11-4-5, WS-14  
 山田 優衣 9-3-5  
 山田 洋子 12-4  
 山野井尚美 WS-17  
 山本 真実 9-3-6  
 山本 祐子 5-2  
 山本 裕美 WS-13

**ユ**

行廣 律江 1-3

**ヨ**

横田香七恵 5-2-1  
 横田 恵 6-5  
 横山 加奈 11-1-2  
 横山 利広 13-3  
 横山三千代 9-6-6, 11-2-3  
 吉岡 京子 WS-2  
 吉川 悦子 5-1-6, 5-1-7, 5-3-4,  
 5-3-5, 5-3-6  
 吉澤佐知子 5-2-6  
 吉田 早苗 5-2-5  
 吉田礼維子 9-1-1, 9-1-2, 10-5,  
 11-4-3, 12-2, 14-6

吉野 八重 17-2  
 吉本 照子 WS-6  
 米井 裕子 14-5  
 米田 佳美 13-2, 13-4

**リ**

笠 真帆 9-2-4

**ロ**

若杉 里実 8-1-1  
 若林 和枝 18-1  
 若山 好美 9-1-1, 9-1-2, 9-3-1,  
 10-5, 11-4-3, 12-2,  
 14-6  
 和田 恵子 8-1-1  
 和田 直子 11-2-4, **16-3**  
 渡邊知佳子 5-2-3  
 渡部 瑞穂 18-1  
 巨 美咲 5-4-6, WS-3  
 和辻 雄仁 WS-10

## 後援一覧（順不同）

厚生労働省

文部科学省

公益社団法人日本看護協会

一般財団法人日本公衆衛生協会

全国保健師長会

一般社団法人日本産業保健師会

公益社団法人大阪府看護協会

公益社団法人大阪公衆衛生協会

大阪府

大阪市

堺市

大阪府市長会

大阪府町村長会

大阪大学

## 共催

公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

## 協賛一覧

医歯薬出版株式会社

株式会社東京法規出版

中央法規出版株式会社

株式会社 医学書院

株式会社日本看護協会出版会

有限会社社会保険実務研究所

株式会社東京法規出版

三田理化メディカル株式会社

## 大学院保健師コースWeb動画広告

聖路加国際大学大学院

大分県立看護科学大学

北海道大学大学院 保健科学研究院

大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻

東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生看護学分野

京都看護大学 大学院

(受付順)

# 委員名簿

## 企画委員会 (国内・国際順、敬称略、順不同)

### 【総括】

松本 珠実 (大阪市)  
岡本 玲子 (大阪大学)

### 【実行委員会】

蕨野 由佳里 (大阪市)  
藤山 正子 (大阪大学)  
小出 恵子 (大阪大学)  
田中 美帆 (大阪大学)

### 【渉外・広報委員会】

足立 礼子 (大阪市)  
七堂 美香 (大阪市)  
藤山 正子 (大阪大学)  
塩見 美抄 (京都大学)

### 【演題登録・査読委員会】

山本 祐子 (大阪府)  
田中 佐代子 (大阪府)  
石堂 双葉 (大阪府)  
小出 恵子 (大阪大学)  
神出 計 (大阪大学)  
呉代 華容 (大阪大学)

### 【プログラム・講演集委員会】

齊藤 和美 (大阪市)  
仙田 寿子 (大阪市)  
尾原 ゆり子 (大阪市)  
岩本 里織 (神戸市看護大学)  
田中 美帆 (大阪大学)  
小西 かおる (大阪大学)

### 【セレモニー・グッズ委員会】

東口 三容子 (堺市)  
西本 夕紀 (堺市)  
合田 加代子 (甲南女子大学)  
聲高 英代 (甲南女子大学)  
草野 恵美子 (大阪医科薬科大学)

## 査読委員 (五十音順、敬称略)

### 【国内JAPHN演題査読】

赤星 琴美 (大分県立看護科学大学)  
有馬 志津子 (甲南女子大学)  
井口 理 (日本赤十字看護大学)  
石井 美由紀 (京都橘大学)  
石田 千絵 (日本赤十字看護大学)  
井上 清美 (姫路獨協大学)  
上野 昌江 (関西医科大学)  
大倉 美佳 (名古屋大学)  
大澤 真奈美 (群馬県立県民健康科学大学)  
籠谷 恵 (東海大学)  
桂 晶子 (公立大学法人宮城大学)  
金谷 志子 (武庫川女子大学)  
金子 仁子 (東京情報大学)  
川崎 千恵 (長野保健医療大学)  
神崎 由紀 (山梨大学)  
北岡 英子 (湘南鎌倉医療大学)  
呉 珠響 (東京医科大学)  
瀨藤 朋弥 (岐阜大学)  
後藤 順子 (山形県立保健医療大学)  
小林 和成 (岐阜大学)  
小林 恵子 (新潟大学)  
小林 淳子 (山形大学)  
小林 真朝 (聖路加国際大学)  
齋藤 泰子 (秀明大学)  
佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)  
嶋津 多恵子 (国際医療福祉大学)  
小路 浩子 (神戸女子大学)  
城島 哲子 (奈良県立医科大学)  
鈴木 るり子 (岩手保健医療大学)  
関 美雪 (埼玉県立大学)  
関口 敏彰 (森ノ宮医療大学)  
臺 有桂 (神奈川県立保健福祉大学)  
高城 智圭 (京都看護大学)  
高橋 佐和子 (神奈川県立保健福祉大学)

滝澤 寛子	(京都看護大学)	石丸 美奈	(千葉大学)
田口 敦子	(慶應義塾大学)	伊藤 美樹子	(滋賀医科大学)
巽 あさみ	(人間環境大学)	岩崎 りほ	(東京大学)
田野中 恭子	(佛教大学)	上田 泉	(札幌医科大学)
田村 須賀子	(富山大学)	大川 聡子	(関西医科大学)
塚田 久恵	(石川県立看護大学)	表 志津子	(金沢大学)
都筑 千景	(大阪府立大学)	蔭山 正子	(大阪大学)
豊島 泰子	(大阪青山大学)	樺山 舞	(大阪大学)
當山 裕子	(琉球大学)	神出 計	(大阪大学)
中山 貴美子	(神戸大学)	喜多 歳子	(札幌市立大学)
暁 素代	(和所大学)	草野 恵美子	(大阪医科薬科大学)
西嶋 真理子	(愛媛大学)	糀屋 絵理子	(大阪大学)
野村 美千江	(愛媛県立医療技術大学)	呉代 華容	(大阪大学)
長谷川 美香	(福井大学)	小西 かおる	(大阪大学)
畠山 典子	(大阪市立大学)	斉藤 恵美子	(東京都立大学)
浜崎 優子	(佛教大学)	齊藤 理砂子	(淑徳大学)
原田 小夜	(梅花女子大学)	佐伯 和子	(富山県立大学)
深江 久代	(静岡県立大学)	櫻井 しのぶ	(順天堂大学)
福本 久美子	(九州看護福祉大学)	鈴木 良美	(東京医科大学)
星野 明子	(大阪成蹊大学)	平 和也	(京都大学)
松尾 和枝	(福女学院看護大)	田口(袴田) 理恵	(共立女子大学)
三徳 和子	(兵庫大学)	田高 悦子	(北海道大学)
宮崎 紀枝	(長野県立大学)	龍野 洋慶	(神戸大学)
三輪 真知子	(京都看護大学)	田中 祐子	(徳島大学)
望月 宗一郎	(健康科学大学)	成瀬 昂	(東京大学)
望月 由紀子	(東邦大学)	難波 峰子	(関西福祉大学)
守田 孝恵	(獨協医科大学)	野間 智子	(大阪大学)
森永 裕美子	(岡山県立大学)	鳩野 洋子	(九州大学)
矢庭 さゆり	(新見公立大学)	樋上 容子	(大阪医科薬科大学)
山口 忍	(茨城県立医療大学)	平野 美千代	(北海道大学)
山口 佳子	(東京家政大学)	廣金 和枝	(兵庫医療大学)
山田 和子	(四天王寺大学)	藤崎 万裕	(東北大学)
横山 美江	(大阪市立大学)	本多 智佳	(大阪大学/滋賀医科大学)
吉野 純子	(東海大学)	本田 光	(札幌市立大学)
<b>【国際GNPHN演題査読】</b>			
麻原 きよみ	(聖路加国際大学)	前野 有佳里	(九州大学)
麻生 保子	(国立保健医療科学院)	丸谷 美紀	(国立保健医療科学院)
荒木田 美香子	(川崎市立看護短期大学)	宮崎 美砂子	(千葉大学)
有本 梓	(横浜市立大学)	矢野 朋子	(大手前大学/大阪大学)
五十嵐 千代	(東京工科大学)	山本 真理子	(大手前大学)
		吉岡 京子	(国立保健医療科学院)

吉川 悦子 (日本赤十字看護大学)  
李 猛 (大阪府立大学)  
渡井 いずみ (浜松医科大学)  
Asumpta Ude (Medical Surgical  
Services NIH Clinical  
Center, Maryland USA)  
Cheryll Adams (Institute of Health  
Visiting, UK)  
Christina Lindhart (University of  
Southern Denmark,  
Denmark)  
Kari Glavin (VID Specialized  
University Campus  
Diakonova, Norway)  
Linda R. Smith (Winona State  
University, USA)

## 事務局

鈴木 麻依子 (大阪大学)  
行平 彩子 (大阪大学)

## ダウンロード用保健師イラスト作成

竹田 由佳子 (堺市)  
辻 裕美子 (堺市)  
村上 尚子 (大阪大学)  
柳澤 杏衣 (大阪市)

## 協力院生

荒木 望 (大阪大学)  
井口 真由香 (大阪大学)  
加藤 ねね (大阪大学)  
高坂 日由香 (大阪大学)  
佐伯 実南 (大阪大学)  
田川 文 (大阪大学)  
忠津 吏湖 (大阪大学)  
津禰鹿 すみれ (大阪大学)  
規家 美咲 (大阪大学)  
中村 祐子 (大阪大学)  
東嶋 由佳 (大阪大学)  
宮本 恵子 (大阪大学)  
村山 加那子 (大阪大学)  
渡辺 莉世 (大阪大学)

# Presentation

## 1 Making up community1

Chairperson : Mineko Namba (Kansai University of Social Welfare)

- GN1-1-1 The Role of Public Health Nurses in Establishing and Promoting Community-based Integrated Care Systems in Japan**  
Ayano Kijima (Department of Community Health Nursing, Oita University of Nursing and Health Sciences)
- GN1-1-2 Efforts to introduce district diagnosis to the trust type Community General Support Centers : an action research case**  
Akemi Okano (Osaka Prefecture University Department Nursing)
- GN1-1-3 Creating bridging and bonding among local residents through the efforts of ARTPARA-FUKAGAWA  
-The art festival of special needs artists**  
Makiko Ueno (Kyoto Tachibana University Faculty of Nursing/Musashino University Creating Happiness Incubation)
- GN1-1-4 Relationships with Students Revitalize the Community**  
Minako Sawai (Shonan University of Medical Sciences)

## 1 Making up community2

Chairperson : Azusa Arimoto (Yokohama City University Graduate School of Medicine)

- GN1-2-1 Innovative multi-sectorial approach for diabetes prevention to address health inequality**  
Satoko Horii (Chiba University Hospital)
- GN1-2-2 Roles and Functions of community healthcare rooms in the Community-based Integrated Care System  
- A Literature Review -**  
Hanayo Koetaka (KONAN WOMEN'S UNIVERSITY)
- GN1-2-3 A Realist Evaluation of Nurse-led Projects to Enhance Health Care Services for People Experiencing Homelessness and other Inclusion Health Groups**  
Rosamund M Bryar (City, University of London)
- GN1-2-4 Effectiveness of incentives on health-promoting behavior changes: A literature review**  
Riko Tadatsu (Osaka University Graduate School of Medicine, Division of Health Sciences)

## 2 District/residence organizing activity

Chairperson : Kimiko Nakayama (Kobe University Graduate School of Health Sciences)

### GN2-1 **The Current Situation and Recognition of Health Mates' Activities in Depopulated and Aging Areas in Japan**

Yuko Mikoshiba (Nagano College of Nursing)

### GN2-2 **Meaning of Gathering in Community Organizations Activities and Collaboration between Community People and Public Health Nurses (PHNs)**

Tamami Shimokoshi (Department of Nursing, Tokyo Kasei University)

### GN2-3 **Contents of PHNs' support for Community Organizations Activities to Prevent Disease and Maintain and Improve the Health of Residents**

Ryoko Shiro (Department of Community Health Nursing, Faculty of Medicine, Academic Assembly, University of Toyama)

## 3 Health education and group support

Chairperson : Takashi Naruse (The University of Tokyo Graduate School of Medicine)

### GN3-1 **A Health Literacy Program for Youth in a Juvenile Detention Center Before and During Covid-19**

Susan Walsh (University of Illinois Chicago College of Nursing)

### GN3-2 **BREAST EXAMINATION PRACTICES OF WOMEN AT HO IN THE VOLTA REGION OF GHANA**

Patience W. Adjimah (GHANA NURSES AND MIDWIFE ASSOCIATION)

### GN3-3 **Development of materials for health guidance and health education based on scientific evidence: Literature review**

Kanako Murayama (Department of Health Sciences, Graduate School of Medicine, Osaka University)

### GN3-4 **Older adults' step count maintenance using smartphone applications for information regarding their step count**

Maya Honda (Graduate School of Health Sciences, Hokkaido University)

### GN3-5 **Qualitative study on the self-care construction process by middle-aged local workers in small establishments**

Yoshiko Ohno (School of Nursing/Graduate School of Nursing, Dokkyo Medical University)

### GN3-6 **Individual beliefs and cues to promote healthier alcohol consumption in the community: An analysis by the Health Belief Model**

Junko Sakurai (Shonan Kamakura University of Medical Sciences)

## 4 Family support

Chairperson : Shinobu Sakurai (Juntendo University)

### GN4-1 **The relationship between employment status and parenting stressors among mothers of 3-year-old children in Okinawa, Japan**

Noriko Toyama (School of Health Sciences, Faculty of Medicine, University of the Ryukyus)

### GN4-2 **Designing an intervention on counselling about food and feeding practices at the child health centre: A complex intervention study**

Bettina Holmberg Fagerlund (Department of Health, VID Specialized University, Oslo, P.O. Box 184 Vinderen, N-0319 Oslo, Norway /  
Department of Nursing and Health Promotion, Faculty of Health Sciences, OsloMet – Oslo Metropolitan University, P.O. Box 4 St. Olavs plass, N-0130 Oslo, Norway)

### GN4-3 **“Difficulties” in childcare and the psychological transformation process of mothers: Analysis of a case using the Trajectory Equifinality Model (TEM)**

Yoko Kon (Hokkaido University of Science Graduate School)

### GN4-4 **The relationship between father-infant bonding and parenting status among Japanese fathers: a cross-sectional study**

Kazuki Yoshida (Iryo Sosei University)

### GN4-5 **Defining features and issues of mothers and 18-month-old children who make intervention of public health nurses challenging during medical checkups**

Michiko Matsubara (Hokkaido University of Science Department of Public Health Nursing)

### GN4-6 **Optimizing school health services to promote mental health and well-being for siblings in families who have children with CCNs.**

Lise-Marie Bergvoll (UiT The Arctic University of Norway, Harstad, Norway.)

## 5 Health crisis management (including measures to control pandemics and disasters)

Chairperson : Misako Miyazaki (Chiba University Graduate School of Nursing Science)

### GN5-1 **The facilitating environment for COVID-19 response at public health centers and the competencies required of public health nurses in Japan**

Eri Osawa (Department of International Health and Collaboration, National Institute of Public Health)

### GN5-2 **Mental Health of Public Health Nurses in Public Health Centers during COVID-19 Pandemic in Japan Focusing on Work Environment Factors**

Karen Tsuruda (Nursing course, Department of Health Sciences, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)

**GN5-3 Cooperation Among Public Health Nurses Belonging to Different Institutions During Disasters: A Case Study in Japan**

Misako Miyazaki (Chinba University Graduate School of Nursing)

**GN5-4 The Role and Competency of Public Health Nurses During the COVID-19 Crisis in Korea: A Qualitative Study**

Jung-Ok Yu (College of Nursing, Dong-A University)

**GN5-5 Community health care of public health nurses in response to the COVID-19 clusters on remote islands**

Akiko Mizuta (Department of Community-based Comprehensive Nursing School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University)

**GN5-6 Activities of public health nurses in normal times to persons requiring support during disasters**

Noriko Hosoya (Chiba Prefectural University of Health Sciences)

**GN5-7 Distress, Challenges and Countermeasures in the Activities of Public Health Nurses under the COVID-19 crisis**

Masana Ujihara (Shukutoku University College of Nursing and Nutrition)

## **6 Public health nursing management1**

Chairperson : Chiyo Igarashi (Tokyo University of Technology)

**GN6-1-1 A tentative idea for the systematization of public health nursing methods: core elements of the methods**

Kazuko Saeki (Faculty of Nursing, Toyama Prefectural University)

**GN6-1-2 A Discussion for Improving Community-based Organizational Activity Training Support for Public Health Nurses**

Toshiko Nakajima (Faculty of Health and Medical Care, Department of Nursing, Japan University of Health Sciences)

**GN6-1-3 Estimation of demand and supply for employment of public health nurses in Japan**

Kazuya Taira (Department of Human Health Science, Graduate school of Medicine, Kyoto University)

**GN6-1-4 A study on the actual situation of conflicts faced by managerial public health nurses in organizations in Japan**

Hiroko Okuda (National Institute of Public Health)

**GN6-1-5 Ethical Experience Faced by Municipal Health and Medical Professionals in their Work-Related Activities**

Maasa Kobayashi (St. Luke's International University, Graduate School of Nursing Science)

## 6 Public health nursing management2

Chairperson : Taeko Shimazu (International University of Health and Welfare Graduate School of Medical Health Sciences)

**GN6-2-1 Exploring the health visiting practice within a framework of clinical leadership**

Christina Louise Lindhardt (Research centre of Patient Communication, Clinical institute, University of Southern Denmark, Odense, Denmark/University College Absalon.)

**GN6-2-2 Nurse leadership: delivering evidence-based impactful interventions to improve the health and wellbeing of children, families and communities**

Wendy Nicholson (Public Health England, Chief Nurse, Maternity and Early Years Directorate)

**GN6-2-3 Siblings of children with complex health care needs. Reading groups as a health promotion intervention in upper secondary schools**

Sunniva Solhaug Fjelldal (Faculty of Health Sciences, UiT The Arctic University of Norway)

**GN6-2-4 Nurse leadership: delivering evidence-based impactful interventions to improve the health and wellbeing of children and young people.**

Penny Greenwood (Public Health England, Nursing, Maternity and Early Years Directorate)

**GN6-2-5 protein-energy malnutrition in children aged 0-5 years among nursing mothers/caretakers in Lower Nyanyano in the Central Region of Ghana.**

Hilda Osei Adjei (Public Health)

## 7 Basic education

Chairperson : Mina Ishimaru (Chiba University Graduate School of Nursing Science)

**GN7-1 A Study on the Educational Significance of Special Needs Education in Basic PHN Education - 2nd Report**

Kazue Hirokane (HYOGO UNIVERSITY)

**GN7-2 Practical Training through Online and Face-to-face Lectures in Graduate School Basic Education for Public Health Nurses to Develop Care Systems**

Ryoko Ozawa (Department of Nursing, Tenshi Collage)

**GN7-3 Japanese and International Trends in the Introduction of Online Learning Resources in Nursing Education**

Satoko Isomura (Graduate School of Medicine, Yamaguchi University)

**GN7-4 Significance of Master's Degree in Public Health Nurses Education**

Haruko Ono (Oita University of Nursing and Health Sciences)

**GN7-5 Public Health Nursing Students' Learning in Health Consultation Practice**

Akie Ayabe (Ibaraki Prefectural University of Health Sciences)

**GN7-6 Learning through a Reduced Version of the Public Health Nursing Training Program during the COVID-19 Pandemic**

Kayoko Goda (Konan Women's University)

**GN7-7 Devises in Public Health Nursing Education under the COVID-19 Pandemic**

Maho Yamazaki (Shonan University of Medical Sciences)

**8 Education given to qualified nurses who are currently working1**

Chairperson : Kyoko Yoshioka (National Institute of Public Health)

**GN8-1-1 Development of a scale for public health nurses to support resident organization activities for community building in Japan**

Akemi Abe (Senior Care Division, Department of Health and Social Welfare, Hatsukaichi city)

**GN8-1-2 The Process by which a Public Health Nurse who Experienced Setbacks Could Acquire Professional Identity**

Hiroko Shoji (Kobe Women's University)

**GN8-1-3 Factors affecting the professional confidence of public health nurses**

Tomoko Ogawa (Faculty of Nursing and Nutrition, The University of Shimane)

**GN8-1-4 Continuing Education for public health nurses who work among remote islands.**

Maki Chinen (Okinawa prefectural college of nursing)

**GN8-1-5 Duties and autonomy of nurses working in elderly daycare services facilities**

Shigeko Mori (Hokkaido University of Science Graduate School)

**8 Education given to qualified nurses who are currently working2**

Chairperson : Kiyomi Asahara (St. Luke's International University)

**GN8-2-1 Applicability and Limitations of a Community Continuing Assessment Model in Public Health Nursing Practice**

Misa Shiomi (Department of Human Health Sciences, Graduate School of Medicine, Kyoto University)

**GN8-2-2 Public Health Nurses' Perceived Attitude or Skills Required to Provide Culturally Sensitive Care to Immigrants in Japan: A Qualitative Study**

Sayaka Kotera (Graduate School of Health Sciences, Kobe University)

**GN8-2-3 Public health nurses' nursing skills in community comprehensive care organizations: Focus on position and years of experience**

Rise Watanabe (Division of Health Sciences, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan)

**GN8-2-4 Nurses in Primary Care Settings and Technology: A Research Based Curriculum**

Pernille Brandt Schmidt (University College Absalon, Slagelse, Denmark)

## **9 Healthcare and welfare for parents and their children1**

Chairperson : Hikaru Honda (Sapporo City University)

**GN9-1-1 Developmental outcomes at ages 3-5 among VLBW and ELBW children assessed at 18-24 months through M-CHAT**

Noriko Yamaoka (Kobe Tokiwa University Correspondence Course of Nursing)

**GN9-1-2 Development of a health education program targeting parents with low motivation for learning**

Sawako Takahashi (Kanagawa University of Human Services)

**GN9-1-3 Trajectory equifinality approach to characterize the process of attachment formation between severely handicapped children and their mothers**

Yoko Tanaka (Department of Nursing, Kio University)

**GN9-1-4 Preliminary survey to develop a childcare-related health literacy measurement scale for mothers with infants**

Miyuki Tada (Tokushima University)

**GN9-1-5 Association between emotions attached to social comparison on social network sites and social support among mothers with infants**

Ryuta Onishi (Faculty of Health Sciences, Hokkaido University)

**GN9-1-6 Remote care support system vs. face-to-face care support system for mothers and babies**

Yoko Takahata (Baika Women's University / Tokyo Women's Medical University)

**GN9-1-7 A study on empowerment of mothers who are cancer survivors with infants after cancer diagnosis**

Kimiko Nakayama (Kobe University)

## 9 Healthcare and welfare for parents and their children2

Chairperson : Etsuko Yoshikawa (Japanese Red Cross College of Nursing)

- GN9-2-1 A literature study about effectiveness of evidence-based parenting programs in Japan in primary and secondary prevention stage studies**  
Midori Fujita (Akita University of Nursing and Welfare)
- GN9-2-2 Variations in sustained home visiting care for mothers and children experiencing adversity**  
Kie Kanda (School of Nursing and Midwifery, Western Sydney University /  
Translational Research and Social Innovation group, Ingham Institute for  
Applied Medical Research)
- GN9-2-3 Dialogue between public health nurse and parent-rearing children: A literature review**  
Mami Yamamoto (Faculty of Nursing, Hamamatsu University School of Medicine)
- GN9-2-4 Survey on parents' attitudes toward smoking in home life after the law's revision to prevent passive smoking in Japan**  
Yohko Inoue (Naragakuen University / University of Hyogo)
- GN9-2-5 Impact of Fathers' Recognition and Behavior on Children with Developmental Disabilities and Associated People**  
Shiori Ishida (Shinshu university School of Health Sciences)
- GN9-2-6 Behavioral Changes in Parenting Females- A Longitudinal Study from Four Months to Five Years after Childbirth-**  
Taeko Masumoto (Kobe City College of Nursing)
- GN9-2-7 The association between mental health and using digital media among Japanese mothers with infants**  
Haruka Tamura (Nagoya University Graduate School of Medicine)

## 9 Healthcare and welfare for parents and their children3

Chairperson : Atsuko Taguchi (Keio University)

- GN9-3-1 "New families": Innovation and Development of the Child Health Services in Oslo.**  
Kari Glavin (VID Specialized University, Department of Health, Oslo)
- GN9-3-2 Oslo's child health service during the COVID-19 pandemic - the experiences of first-time mothers**  
Malene Brekke (Department of Health, VID Specialized University)

**GN9-3-3 Current status and issues regarding Child-Rearing Support Network in Japan**

Nobuko Matsuda (Kansai University of International Studies Graduate School of Nursing Science)

**GN9-3-4 The experience of being judged as a perpetrator of maltreatment by a single mother using a night childcare center**

Kyoko Tsuji (Kagawa University)

**GN9-3-5 Characteristics of the Factors Related to Child-rearing Support Behavior of Elderly People in the Community by Gender**

Emiko Kusano (Faculty of Nursing, Osaka Medical and Pharmaceutical University)

**GN9-3-6 Postpartum mother's experiences of social support and their needs for healthcare professional**

Hitomi Ando (Department of Human Nursing, Faculty of Human Health, Sonoda Women's University, Japan/Division of Health Sciences, Graduate School of Medicine, Osaka University, Japan)

**GN9-3-7 Relationship between public health nurses' smoking cessation support skills during pregnancy and professional competence by position and years of experience**

Yuka Higashijima (Division of Health Sciences, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan)

## **9 Healthcare and welfare for parents and their children<sup>4</sup>**

Chairperson : Emiko Kusano (Osaka Medical and Pharmaceutical University)

**GN9-4-1 Injury prevention practice of mothers raising 1-year-old children**

Mika Makabe (Faculty of Nursing, Shitennoji University/Osaka Prefecture University Graduate School of Nursing Doctoral Course)

**GN9-4-2 Analyzing the Becoming Parents Program to Examine the Japanese Version of a Father Support Program Focusing on Child Abuse Prevention**

Shuhei Fukagawa (Department of Nursing, School of Health Sciences, Sapporo Medical University)

**GN9-4-3 Relationships between Elementary and Junior High School Students' Status of Media Use and Parental Media Use/Media Rules in Households**

Aya Sakakihara (Community Health Nursing, Faculty of Medicine, Shimane University)

**GN9-4-4 Do pregnant woman workers participate in childbirth class in Japan ?**

Izumi Watai (Hamamatsu University School of Medicine, Community Health Nursing)

- GN9-4-5 Risk Factors for Postpartum Depression: A Literature review**  
 Sayaka Tabuchi (Human Health Sciences, Graduate School of Medicine, Kyoto University/Department of Clinical Nursing, Shiga University of Medical Science)
- GN9-4-6 The implementation which is a healthy examination 5 years old and the problem at each Japanese city**  
 Shinobu Yamaguchi (Ibaraki Prefectural University of HealthSciences)
- GN9-4-7 Comparisons of thoughts on childcare and regional childcare support services of mothers with 4-month-old and 1-year-6-month-old children**  
 Hiroko Suzuki (Showa University)

## 9 Healthcare and welfare for parents and their children5

Chairperson : Riho Iwasaki (The University of Tokyo Graduate School of Medicine)

- GN9-5-1 Cognitive and behavioral factors related to loneliness among mothers with preschool children: a community-based cross-sectional study**  
 Azusa Arimoto (Department of Community Health Nursing, Graduate School of Medicine, Yokohama City University)
- GN9-5-2 Which domains of spiritual well-being are associated with anxiety in pregnant women?**  
 Dangyra Ruseckiene (302536989)
- GN9-5-3 Community-based health care professionals' experiences of discussing financial challenges with pregnant women and new parents during routine practice**  
 Flora Douglas (The Robert Gordon University, Aberdeen)
- GN9-5-4 Community embedded Paediatric Nurse Practitioners (NP) leading an innovative model of service delivery of interprofessional care for marginalised children**  
 Yvonne Parry (Flinders University, College of Nursing and Health Sciences, PO Box 2100, Adelaide, South Australia, 5001)
- GN9-5-5 A review of the impact of the COVID-19 pandemic on the health visiting service in England**  
 Alison Morton (Institute of Health Visiting)
- GN9-5-6 An enormous effect and new challenges for parenting in the Covid-19**  
 Keiko Miyamoto (faculty of Nursing)

## 9 Healthcare and welfare for parents and their children<sup>5</sup>

Chairperson : Riho Iwasaki (The University of Tokyo Graduate School of Medicine)

### GN9-5-7 **Constructing continuous community-level maternal and child health services by public health nurses: A qualitative analysis of a key concept**

Aya Tagawa (Osaka University Graduate School of Medicine, Division of Health Sciences)

## 10 Healthcare for adults

Chairperson : Mai Kabayama (Osaka University Graduate School of Medicine)

### GN10-1 **Literature review on the association between obesity and lifestyle in young people with focus on workers**

Yumiko Iwase (Department of Human Health Sciences, Graduate School of Medicine, Kyoto University)

### GN10-2 **Descriptive Epidemiological Study on Medical Expenses by Combining Medical Examination and Medical Receipt Data in Hakui City, Ishikawa Prefecture**

Tomoya Itatani (Division of Nursing, Faculty of Health Science Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science Kanazawa University)

### GN10-3 **Development of the short version of the Strengths Measurement Scale for the lifestyle transformation process**

Reiko Okahisa (Tokushima University)

### GN10-4 **The relationship between the adult behavior of undergoing medical examination, self-rated health, health consciousness, and health practices**

Hisako Izumi (Kobe University Graduate School of Health Sciences)

## 11 Healthcare and welfare for the elderly<sup>1</sup>

Chairperson : Kei Kamide (Osaka University Graduate School of Medicine)

### GN11-1-1 **Social activity program with an original social interaction application to prevent frailty in older men: An intervention study**

Michiyo Hirano (Faculty of Health Sciences, Hokkaido University)

### GN11-1-2 **Age-related quality of life and social support among healthy Japanese older adults who participated in salons**

Yuriko Inoue (Fukuoka University Faculty of Medicine School of Nursing)

### GN11-1-3 **Actual conditions of foot troubles of healthy elderly people living in the community and changes before and after foot care**

Akiko Uozato (KOBE WOMEN'S UNIVERSITY)

- GN11-1-4 Factors associated with loneliness in older adults during the COVID-19 pandemic: Focusing on socializing with friends**  
Hiyori Hanesaka (Graduate School of Health Sciences, Hokkaido University)
- GN11-1-5 Connectedness in older adults with people in their communities: A concept analysis**  
Mami Kikuchi (Graduate School of Health Sciences, Hokkaido University)
- GN11-1-6 Ethical issues in community-based care for elderly people and their families: A literature review**  
Emiko Saito (Tokyo Metropolitan University)

---

## 11 Healthcare and welfare for the elderly2

Chairperson : Hirochika Ryuno (Kobe University Graduate School of Health Sciences)

- GN11-2-1 Challenges with Care of Older Persons in Nigeria: Proposed Model for Evidence-based Innovative Care**  
Assumpta Ude (GNPHN Member and registered)
- GN11-2-2 Relationship between Knowledge, Attitudes, and Practices (KAP) in End-of-Life Decision-Making and Factors Considered Important among Healthy Japanese Elderly**  
Shoko Abiko (Graduate School of Nursing, University of Human Environments/Faculty of Nursing, Seisen University)
- GN11-2-3 Association between lipid level and atherosclerotic diseases in community-dwelling older people: The SONIC study**  
Yuko Nakamura (Division of Health Sciences, Osaka University, Graduate School of Medicine, Osaka, Japan)
- GN11-2-4 Ingenuity in facilitating reciprocal exchange of social support in activities captured by leaders of resident-led preventive care activities**  
Fumie Yamano (osaka medical and pharmaceutical university)
- GN11-2-5 Feasibility of Caring for Older Adults at Home Until Deaths in Doctorless Districts of Heavy Snowfall Areas and Contributing Factors**  
Utako Koyama (Niigata University of Health and Welfare)
- GN11-2-6 Current usages and intentions of participating in online meetings or chatting among community-dwelling older people in Japan amid COVID-19 pandemic**  
Mahiro Fujisaki-Sueda-Sakai (Tohoku University/The University of Tokyo)

## 11 Healthcare and welfare for the elderly3

Chairperson : Tomoko Yano (Otemae University)

- GN11-3-1 Cultural competent healthcare for older ethnic minorities focusing on countries with multicultural policies: a literature review**  
Chuhyang Oh (School of Nursing, Tokyo Medical University)
- GN11-3-2 Recognition and behavior related to health promotion of community-dwelling elderly people: a literature review**  
Yukari Sugita (Chiba University)
- GN11-3-3 Social Relationships of Older People Belonging to Nonprofit Organizations Based on Neighborhood Associations**  
Sayumi Negoro (School of Nursing,Osaka Prefecture University/Graduate School of Human Welfare Studies, Kwansai Gakuin University)
- GN11-3-4 Issues on activities by resident volunteers to watch over the local elderly**  
Yasuko Tokushima (Tottori University)
- GN11-3-5 Characteristics of Family Caregivers of Dementia Patients Requiring Easily Usable Counseling System**  
Miyuki Sato (Saku University)

## 12 Mental healthcare and welfare1

Chairperson : Kyoko Tanonaka (Bukkyo University)

- GN12-1-1 The work ability of people with mental illness: A conceptual analysis (Interim Report)**  
Yoshitomo Fukuura (KURUME UNIVERSITY Doctoral Course of the Graduate School)
- GN12-1-2 Study on Parenting Support for Mothers with Mental Disorders - Psycho-social Support by Public Health Nurses During the COVID-19 Epidemic-**  
Junko Morimoto (Kanagawa University of Human Services Graduate School)
- GN12-1-3 Programs to reduce public stigma related to substance use disorders: A literature review**  
Mina Saeki (Osaka University Graduate School of Medicine, Division of Health Sciences)
- GN12-1-4 Difficulties in living of adult children of women with schizophrenia spectrum after adulthood: A qualitative descriptive study**  
Hiyuka Kosaka (Osaka University Graduate School of Medicine)

**GN12-1-5 Parental assessment of offspring at age 15 predicts mental disorders at a three-year follow-up**

Kristina Carlén (School of Health Sciences, University of Skövde, Skövde, Sweden)

## **12 Mental healthcare and welfare2**

Chairperson : Kazuya Taira (Kyoto University Graduate School of Medicine)

**GN12-2-1 The barriers to romance and marriage that people with mental disorders experience, and the support to overcome these barriers**

Rio Sakata (Osaka University Graduate School of Medicine, Division of Health Sciences)

**GN12-2-2 Support for young people with mental illness**

Emi Kosaka (Nihon Institute of Medical Science)

**GN12-2-3 A Scoping Review on Mental Health Service Utilization by Vietnamese adults who live outside of Vietnam**

Yui Fukuda (Keio University)

**GN12-2-4 Non-functional family systems are associated with mental health: a cross-sectional study among nursing students under COVID-19 pandemic**

Keiichi Shimatani (Tokyo Healthcare University)

## **13 Healthcare related to infectious diseases**

Chairperson : Emiko Saito (Tokyo Metropolitan University)

**GN13-1 Changes in residents' consciousness and behavior due to the occurrence of COVID-19 clusters on a remote island**

Nao Horinouchi (School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University)

**GN13-2 Competencies required for public health nurses when responding to coronavirus disease 2019 infections**

Saori Iwamoto (Kobe City Collge of Nursing)

**GN13-3 Parental acceptability of COVID-19 vaccination for children: Study protocol for a systematic review and meta-analysis**

Yukiko Kato (Faculty of Nursing and Medical Care, Keio University./Graduate School of Health Management, Keio University.)

**GN13-4 Awareness of the actual situation seen through HIV prevention enlightening activities from public health nurse students to university students**

Hisae Murakami (Meiji University of Integrative Medicine)

## 14 Healthcare and welfare for handicapped individuals (including support to patients with intractable diseases and developmental support)

Chairperson : Kaoru Konishi (Osaka University Graduate School of Medicine)

### GN14-1 The use of breast cancer screening between women with and without disabilities in Taiwan: A population-based cohort study

Puchong Inchai (Graduate Institute of Public Health, College of Public Health, China Medical University, Taichung, Taiwan, R.O.C./Department of Health Services Administration, China Medical University, Taichung, Taiwan, R.O.C.)

### GN14-2 Issues in Public Health Nursing in Achieving Outings to Patients in Need of Home Nursing Care

Mari Kimata (Kawasaki City College of Nursing)

### GN14-3 Comparison of ALSFRS-R Scores Between Communication Board Users and Non-Users Among Patients with Amyotrophic Lateral Sclerosis in Japan

Takemasa Ishikawa (Division of Health Sciences, Graduate School of Medicine, Osaka University)

### GN14-4 Multidisciplinary Support for Children with Special Healthcare Needs and their Families

Shima Ishikawa (Keio University)

### GN14-5 Creating connections among children: A qualitative study on the care provided by mothers of home health care children

Motoko Kosaka (KOBE WOMEN'S UNIVERSITY)

### GN14-6 Support Needs of Preschool Children with Borderline Intellectual Functioning: A Literature Review

Sumire Tsuneka (Osaka University Graduate School of Medicine, Division of Health Sciences)

## 15 School health

Chairperson : Yuko Tanaka (Tokushima University Graduate School of Biomedical Sciences)

### GN15-1 From lonely to included - a study on how support groups can help bullied children

Ann Jeanette Heitmann (OsloMet University)

### GN15-2 The supporting role of public health nurses for children with developmental disabilities when transitioning from community to school: Literature review

Nozomi Araki (Osaka University)

**GN15-3 Bi-axiality Health Education Skill Ladder Development for School Health Nurses in Japan**

Yuko Uchiyama (Toyo University)

**16 Industrial health**

Chairperson : Mikako Arakida (Kawasaki City College of Nursing)

**GN16-1 A Study on the Differences of Mental and physical health and Lifestyle among Japanese and French Female SME's owners.**

Sumiko Kurioka (St.Andrew's University of Education)

**GN16-2 Pilot Study on Questionnaire Development to Investigate Factors Influencing Secondary Health Examination Behavior among Working Generation in Japan**

Saori Yoshikoshi (Kyoto Tachibana University)

**GN16-3 Literature Review of Studies on the Relationship between Workers' Lifestyles and Work Engagement.**

Ayako Naka (Osaka Support Center for Health and Productivity Management, Asahi Kasei Corporation)

**GN16-4 Association of chronotype and working timeframe with presenteeism in Japanese industry**

Makoto Kageyama (Hamamatsu University School of Medicine)

**17 International health**

Chairperson : Yoshie Yokoyama (Osaka City University Graduate School of Nursing Science)

**GN17-1 An Exploration of Health Promotion Approach to Increase Optimal Complementary Feeding among Pastoral Mothers in Dikhil, Djibouti**

Haruka Ando (Community Health Nursing, School of Nursing, Dokkyo Medical University)

**GN17-2 Applying old wisdom anew to move healthcare systems for HIV and cancer from management to curative therapies for positive health.**

Linus K. Ndonga (Strategic Poverty Alleviation Systems-SPAS)

**GN17-3 Social Networks of Foreign Residents in Japan and Disaster Experience through Social Networks**

Noriko Aizawa (Dokkyo Medical University)

**GN17-4 Life and well-being of Burmese refugees in Japan and their thoughts and feelings on forming their own group**

Kazuko Takemura (College of Nursing Art & Science, University of Hyogo)

## 18 Others

Chairperson : Miki Marutani (National Institute of Public Health)

### **GN18-1 Development of an all Wales Health Visitor Observation and Assessment of the Infant (HOAI) Tool**

Amanda Holland (Cardiff University / Community Practitioner and health Visitors Association)

### **GN18-2 The role of safeguarding supervision in supporting health visitors coping with the burden of COVID-19 on their safeguarding practice.**

Michelle Moseley (Individual)

### **GN18-3 Content validity testing of advocacy activities for groups and communities conducted by public health nurses in Japan**

Yoko Hatono (Kyushu University)

### **GN18-4 Literature Review on the self-reliance of Japanese Care Leavers: Possibility of nursing which support their life chances**

Yoko Ishii (Kawasaki University of Medical Welfare)

### **GN18-5 Development of the get-together program for welfare recipients in Japanese welfare-to-work programs**

Maki Taniyama (International University of Health and Welfare, School of Health Sciences at Odawara)

### **GN18-6 Common Health Characteristics of Welfare Recipients Globally: A Literature Review**

Kenta Teramoto (Kaisei Town Office)

### **GN18-7 Association between history of cancer and clinical events in older patients receiving home medical care —OHCARE study—**

Naoko Murakami (Department of Health Sciences, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan)



# Name Index

## A

Abbott, Stephen GN1-2-3  
 Abe, Akemi **GN8-1-1**  
 Abe, Natsumi GN13-1  
 Abiko, Shoko **GN11-2-2**  
 Adams, Cheryll GN9-5-5  
 Adjei, Hilda Osei **GN6-2-5**  
 Adjimah, Patience W. **GN3-2**  
 Aizawa, Noriko **GN17-3**  
 Akahoshi, Kotomi GN7-4,  
 GN9-4-6  
 Akasaka, Hiroshi GN11-2-3  
 Amamiya, Yuko GN5-3, GN5-6  
 Ando, Haruka **GN17-1**  
 Ando, Hitomi **GN9-3-6**  
 Aoki, Asako GN9-4-2  
 Arai, Yasumichi GN11-2-3  
 Araki, Nozomi **GN15-2**  
 Arakida, Mikako GN15-3  
 Ardith, Z. GN13-3  
 Arimoto, Azusa **GN9-5-1**  
 Aromaa, Minna GN12-1-5  
 Asahara, Kiyomi GN6-1-5  
 Augustine, Lilly GN12-1-5  
 Auglend, Morten GN6-2-3  
 Ayabe, Akie GN6-1-2, **GN7-5**,  
 GN9-4-6

## B

Bergvoll, Lise-Marie **GN4-6**  
 Blythe, Stacy GN9-2-2  
 Brekke, Malene GN9-3-1,  
**GN9-3-2**  
 Bryar, Rosamund M **GN1-2-3**

## C

Carlén, Kristina **GN12-1-5**  
 Chinen, Maki **GN8-1-4**  
 Chino, Nana GN9-1-5  
 Chiu, Li-Ting GN14-1  
 Choi, Seon-Im GN5-4  
 Clancy, Anne GN4-6, GN6-2-3

## D

Davis, Tracy GN9-5-3  
 Douglas, Flora **GN9-5-3**

## E

Elcombe, Emma GN9-2-2  
 Endo, Masumi GN13-2

## F

Fjelldal, Sunniva Solhaug  
**GN6-2-3**  
 Fujioka, Kanna GN13-2

Fujisaki-Sueda-Sakai, Mahiro  
**GN11-2-6**

Fujita, Chiharu GN18-5  
 Fujita, Midori **GN9-2-1**  
 Fujita, Mie GN14-4  
 Fujiwara, Mari GN5-3  
 Fukagawa, Shuhei **GN9-4-2**  
 Fukita, Susumu GN14-4  
 Fukuda, Yui **GN12-2-3**  
 Fukuura, Yoshitomo **GN12-1-1**  
 Futami, Akane GN12-2-3

## G

Gajlhede, Mette GN8-2-4  
 Glavin, Kari GN4-2, **GN9-3-1**,  
 GN9-3-2  
 Goda, Kayoko GN1-2-2, **GN7-6**,  
 GN9-1-7, GN9-3-5  
 Godai, Kayo GN11-2-3, GN18-7  
 Gondo, Yasuyuki GN11-2-3  
 Good, Kjersti GN15-1  
 Grace, Rebekah GN9-2-2  
 Greenwood, Penny **GN6-2-4**

## H

Haga, Chiyori GN9-3-4  
 Haga, Hiroshi GN11-3-5  
 Hanai, Eiko GN8-2-1  
 Hanesaka, Hiyori **GN11-1-4**  
 Hatono, Yoko GN5-2, GN8-1-1,  
 GN9-1-7, GN9-3-5,  
**GN18-3**  
 Heitmann, Ann Jeanette **GN15-1**  
 Helseth, Sølvi GN4-2  
 Higashijima, Yuka **GN9-3-7**  
 Hirai, Mio GN9-1-6  
 Hirano, Michiyo GN3-4,  
 GN6-1-1, **GN11-1-1**,  
 GN11-1-4, GN11-1-5  
 Hirokane, Kazue **GN7-1**  
 Hirose, Yoshiaki GN1-1-3  
 Hobo, Megumi GN18-5  
 Hokama, Chikako GN4-1  
 Holland, Amanda **GN18-1, S-2**  
 Holmberg Fagerlund, Bettina  
**GN4-2, GN9-3-1**  
 Honda, Chika GN10-2  
 Honda, Hikaru GN9-4-2  
 Honda, Maya **GN3-4**  
 Horii, Satoko **GN1-2-1**  
 Horinouchi, Nao **GN13-1**  
 Hosogaya, Kazutatsu GN11-2-6  
 Hosokawa, Rikuya GN6-1-3,  
 GN9-4-5, GN10-1  
 Hosoya, Noriko **GN5-6**  
 Huffman, Jeffrey GN18-6

## I

Ide, Koichi GN5-7  
 Ide, Narumi GN11-3-2  
 Iguchi, Saori GN5-3  
 Inamoto, Masanori GN7-1  
 Inchai, Puchong **GN14-1**  
 Inoue, Kiyomi GN8-2-1, GN8-2-2  
 Inoue, Yohko **GN9-2-4**  
 Inoue, Yuriko **GN11-1-2**  
 Ishida, Shiori **GN9-2-5**  
 Ishii, Miyuki GN9-3-3, GN16-2  
 Ishii, Yoko **GN18-4**  
 Ishikawa, Mai GN11-3-2  
 Ishikawa, Shima **GN14-4**  
 Ishikawa, Takemasa **GN14-3**  
 Ishimaru, Mina GN7-3  
 Ishizaki, Tatsuro GN11-2-3  
 Iso, Hiroyasu **L-5E**  
 Isomura, Satoko **GN7-3**  
 Isshiki, Miho GN1-1-1  
 Itatani, Tomoya **GN10-2**  
 Ito, Ai GN9-3-3  
 Ito, Junko GN9-1-2  
 Ito, Kenichiro GN11-2-6  
 Ito, Mitsuru GN3-6  
 Iwamoto, Saori GN8-2-2,  
**GN13-2**  
 Iwasaki-Motegi, Riho GN6-1-1  
 Iwase, Seiko GN7-3, GN14-4  
 Iwase, Yumiko **GN10-1**  
 Iwuagwu, Stella **S-2**  
 Izumi, Hisako GN4-5, GN8-1-5,  
**GN10-4**

## J

Jacobsen, Anna GN8-2-4  
 Jørgensen, Mie Østergaard  
 GN6-2-1  
 June, Kyung Ja GN5-4

## K

Kabayama, Mai GN11-2-3,  
 GN18-7  
 Kageyama, Makoto **GN16-4**  
 Kageyama, Masako GN12-1-3,  
 GN12-1-4, GN12-2-1  
 Kajita, Etsuko GN9-4-4  
 Kamata, Kumiko GN1-1-1  
 Kamei, Katsuyuki GN16-1  
 Kamide, Kei GN11-2-3, GN18-7  
 Kamiyoshi, Uichi GN1-1-3  
 Kanda, Kie **GN9-2-2**  
 Kanzaki, Yuki GN11-1-6  
 Kato, Kenji GN9-2-6  
 Kato, Yukiko **GN13-3**  
 Kawaguchi, Keiji GN11-3-5

Kawasaki, Chie GN6-1-5  
 Kawasaki, Ryoko GN7-4  
 Kawasaki, Yuki GN9-3-6  
 Kawashima, Nanako GN5-7  
 Kemp, Lynn GN9-2-2  
 Kendall, Sally GN9-5-4  
 Kijima, Ayano GN1-1-1  
 Kikuchi, Mami GN3-4, GN11-1-5  
 Kim, Hye-Jin GN5-4  
 Kimata, Mari GN14-2  
 Kimura, Mami GN12-2-4  
 Kinjo, Aya GN9-4-3  
 Kiya, Misaki GN8-2-3  
 Kobayashi, Maasa GN6-1-5, GN6-1-5  
 Koetaka, Hanayo GN1-2-2, GN7-6  
 Koide, Keiko GN8-2-3, GN9-3-7  
 Koishizawa, Motoko GN1-1-1  
 Komada, Mayuko GN12-2-4  
 Kon, Yoko GN4-3  
 Konishi, Kaoru GN14-3  
 Kono, Ayumi GN9-1-3  
 Kosaka, Emi GN12-2-2  
 Kosaka, Hiyuka GN12-1-4  
 Kosaka, Motoko GN9-3-3, GN14-5  
 Koslap-Petraco, Mary S-2  
 Kotera, Sayaka GN8-2-1, GN8-2-2  
 Koto, Kyoko GN5-1  
 Koujiya, Eriko GN18-7  
 Koumoto, Miki GN10-4  
 Koyama, Utako GN11-2-5  
 Kubota, Minoru GN9-1-5  
 Kung, Pei-Tseng GN14-1  
 Kurioka, Sumiko GN16-1  
 Kusano, Emiko GN9-1-7, GN9-3-5, GN11-2-4, GN16-3  
 Kvarme, Lisbeth GN15-1

## L

Laholt, Hilde GN4-6, GN6-2-3  
 Li, Meng GN9-3-7  
 Lindhardt, Christina Louise GN6-2-1, GN8-2-4  
 Lindhardt, Marie-Louise GN6-2-1

## M

Maciver, Emma GN9-5-3  
 Maeda, Takayo GN9-3-3  
 Makabe, Mika GN9-4-1  
 Makinosumi, Moeka GN13-1  
 Marriot, Rhonda GN9-5-4  
 Martinsen, Jan Ivar GN9-3-2  
 Martinussen, Monica GN4-6  
 Maruyama, Funa GN9-1-5

Masui, Yukie GN11-2-3  
 Masumoto, Taeko GN9-2-6  
 Mathew, Asha GN13-3  
 Matsubara, Michiko GN4-3, GN4-5, GN8-1-5  
 Matsuda, Nobuko GN9-3-3  
 Matsukawa, Airi GN12-2-4  
 Matsumoto, Tamami L-2  
 Matsushita, Sachiko GN2-2  
 Mebrouk, Jette GN8-2-4  
 Mikoshiba, Yuko GN2-1  
 Miura, Takahiro GN11-2-6  
 Miyamoto, Keiko GN9-5-6  
 Miyazaki, Misako GN5-3  
 Mizukawa, Mariko GN13-2  
 Mizuko, Marika Q-3E  
 Mizuta, Akiko GN5-5, GN13-1  
 Mori, Shigeko GN8-1-5  
 Morimoto, Junko GN12-1-2  
 Morishige, Ken-Ichirou GN9-3-6  
 Morton, Alison GN9-5-5  
 Moseley, Michelle GN18-2  
 Murakami, Hisae GN13-4  
 Murakami, Naoko GN18-7  
 Murakami, Yurika GN7-3  
 Murakawa, Sho GN9-4-2  
 Murashima, Sachiyo GN1-1-1, GN7-4  
 Murayama, Kanako GN3-3

## N

Nagahara, Yuki Q-3E  
 Nagasawa, Yukari GN7-5  
 Nagata, Satoko GN13-3  
 Naka, Ayako GN16-3  
 Nakajima, Toshiko GN6-1-2, GN7-5, GN9-4-6  
 Nakamura, Chika GN18-7  
 Nakamura, Fumiko GN15-3, Q-2E  
 Nakamura, Yasuhide L-4E  
 Nakamura, Yuko GN11-2-3  
 Nakaseko, Emi GN8-2-2  
 Nakashima, Takako GN9-3-6  
 Nakatani, Hisae GN8-1-3  
 Nakayama, Kimiko GN9-1-7, GN9-3-5  
 Nakayama, Yuki GN14-2  
 Nako, Yumiko GN18-7  
 Ndonga, Linus K. GN17-2  
 Ndonga, Linus Kibira GN17-2  
 Negishi, Kaori GN6-1-5  
 Negoro, Sayumi GN11-3-3  
 Nicholson, Wendy GN6-2-2  
 Nishihara, Tsubasa GN8-1-2  
 Nishitani, Naoko GN9-2-7  
 Numaguchi, Chieko GN9-4-6

## O

Obrecht, Jennifer GN3-1  
 Ogawa, Tomoko GN8-1-3  
 Ogyu, Hiroki GN16-1  
 Oh, Chuhyang GN11-1-6, GN11-3-1  
 Ohno, Yoshiko GN3-5  
 Okahisa, Reiko GN9-1-4, GN10-3  
 Okamoto, Reiko GN1-2-4, GN3-3, GN7-1, GN8-2-3, GN9-3-7, GN9-5-6, GN9-5-7, GN14-6, GN15-2, L-1E  
 Okano, Akemi GN1-1-2  
 Okawa, Satoko GN9-4-1, Q-3E  
 Oki, Sachiko GN6-1-1  
 Okuda, Hiroko GN5-1, GN5-3, GN6-1-4  
 Olivier, Torres GN16-1  
 Omichi, Yuki GN18-7  
 Onishi, Ryuta GN9-1-5, GN11-1-1  
 Ono, Haruko GN7-4  
 Osaki, Yoneatsu GN9-4-3  
 Osawa, Eri GN5-1  
 Ozawa, Ryoko GN7-2

## Ø

Øy garden, Anne-Martha Utne GN9-3-1, GN9-3-2

## P

Park, Dosoon S-2  
 Parry, Yvonne GN9-5-4

## R

Rakugi, Hiromi GN11-2-3, GN18-7  
 Rautava, Päivi GN12-1-5  
 Riklikiene, Olga GN9-5-2  
 Ruseckiene, Dangyra GN9-5-2

## S

Saarinén, Maiju GN12-1-5  
 Saeki, Kazuko GN6-1-1, GN11-1-1  
 Saeki, Mina GN12-1-3  
 Sæther, Kristin Marie GN9-3-1, GN9-3-2  
 Saito, Akemi GN15-3  
 Saito, Emiko GN11-1-6  
 Saito, Eri GN6-1-2, GN7-5, GN9-4-6  
 Saito, Misato GN12-2-4  
 Saito, Miyako GN7-3  
 Saito, Tomoya GN5-1

Sakai, Ayano GN7-3  
 Sakaki, Keiko GN12-1-2  
 Sakakihara, Aya **GN9-4-3**  
 Sakamoto, Mariko GN17-4  
 Sakamoto, Yuko GN11-1-1  
 Sakata, Rio **GN12-2-1**  
 Sakurai, Junko **GN3-6**  
 Sampei, Makiko GN3-5  
 Sasaki, Miya GN12-2-4  
 Sato, Ai GN7-4  
 Sato, Jun GN12-2-4  
 Sato, Miyuki **GN11-3-5**  
 Sato, Noriko GN5-6  
 Sato, Taichi GN5-7, GN7-3  
 Sawai, Minako **GN1-1-4**, GN7-7  
 Schaffer, Marjorie A. **L-7E**  
 Schmidt, Pernille Brandt  
     **GN8-2-4**  
 Sei, Tamae GN8-2-1  
 Sekiya, Mari GN9-2-4  
 Sezai, Izumi GN3-5  
 Sezaki, Mao GN13-1  
 Shibamura, Akira GN5-1  
 Shigematsu, Yukako GN12-1-1  
 Shimasawa, Jinko GN8-2-1  
 Shimatani, Keiichi **GN12-2-4**  
 Shimazu, Taeko GN18-3  
 Shimokoshi, Tamami **GN2-2**  
 Shiomi, Misa GN6-1-3, **GN8-2-1**,  
     GN9-4-5, GN10-1  
 Shiro, Ryoko **GN2-3**  
 Shoji, Hiroko **GN8-1-2**, GN11-1-3  
 Sillanpää, Matti GN12-1-5  
 Singer, Rebecca GN3-1  
 Sivertsen, Nina GN9-5-4  
 Solberg, Beate GN9-3-1, GN9-3-2  
 Solomon, Phyllis **Q-5E**  
 Soma, Yukie GN5-3  
 Sone, Tomofumi GN6-1-4  
 Song, Yeon Yi GN5-4  
 Sourander, Andre' GN12-1-5  
 Sugawara, Ikuko GN11-2-6  
 Sugimoto, Kentaro GN5-6  
 Sugita, Yukari **GN11-3-2**  
 Sugiyama, Daisuke GN13-3  
 Suominen, Sakari GN12-1-5  
 Suto, Shunji GN9-3-6  
 Suzuki, Hiroko **GN9-4-7**, GN18-3  
 Suzuki, Satoko GN7-3

**T**

Tabata, Chihoko GN5-5, GN13-1  
 Tabuchi, Sayaka **GN9-4-5**  
 Tada, Miyuki **GN9-1-4**, GN10-3  
 Tadaka, Etsuko GN9-5-1  
 Tadatsu, Riko **GN1-2-4**  
 Tagawa, Aya **GN9-5-7**

Taguchi, Atsuko GN12-2-3  
 Taira, Kazuya **GN6-1-3**,  
     GN9-4-5, GN10-1  
 Taira, Masumi GN5-6  
 Taira, Namiko GN13-1  
 Takahashi, Ayaka GN7-2  
 Takahashi, Sawako **GN9-1-2**,  
     GN15-3  
 Takahashi, Tomone GN9-2-5  
 Takahata, Yoko **GN9-1-6**  
 Takamasu, Masako GN2-1  
 Takashima, Risa GN11-1-1  
 Takata, Emiko GN7-1  
 Takeda, Fumi GN6-1-4  
 Takei, Masumi GN3-6  
 Takemura, Kazuko GN8-2-1,  
     **GN17-4**  
 Tamura, Haruka **GN9-2-7**  
 Tamura, Sugako GN8-2-1  
 Tanaka, Miho GN8-2-3, GN9-3-7  
 Tanaka, Yoko **GN9-1-3**  
 Tanaka, Yuko GN8-2-2  
 Taniyama, Maki **GN18-5**  
 Tatsumi, Asami GN11-2-2,  
     GN16-4  
 Teramoto, Kenta GN18-5, **GN18-6**  
 Teraoka, Sawa GN8-1-1  
 Terui, Toshihiro GN4-4  
 Tokashiki, Yukio GN4-1  
 Tokita, Reiko GN5-3  
 Tokushima, Yasuko **GN11-3-4**  
 Tomita, Sanae GN18-4  
 Tomoda, Natsumi GN1-1-3  
 Tone, Hanami GN9-1-5  
 Toyama, Noriko **GN4-1**  
 Toyama, Yuko GN4-1  
 Tsai, Wen-Chen GN14-1  
 Tsuji, Kyoko **GN9-3-4**  
 Tsuneka, Sumire **GN14-6**  
 Tsuruda, Karen **GN5-2**  
 Tsurumi, Miyoko GN7-5  
 Tsuzuki, Chikage GN9-2-6,  
     GN9-4-1

**U**

Uchimura, Rie GN9-3-3  
 Uchiyama, Haruno GN9-4-4  
 Uchiyama, Yuko **GN15-3**, **Q-2E**  
 Uda, Yuko GN11-2-5  
 Ude, Assumpta **GN11-2-1**  
 Ueda, Izumi GN9-4-2  
 Ueno, Makiko **GN1-1-3**  
 Uezato, Akihito GN12-2-3  
 Ujihara, Masana **GN5-7**  
 Uozato, Akiko **GN11-1-3**  
 Ushio, Yuko GN7-3, GN8-2-1

**V**

Valla, Lisbeth GN15-1

**W**

Wada, Naoko GN11-2-5  
 Wakabayashi, Kazue GN18-5  
 Wakayama, Yoshimi GN7-2  
 Walsh, Susan **GN3-1**  
 Watai, Izumi **GN9-4-4**, GN16-4  
 Watanabe, Hiroko GN9-3-6  
 Watanabe, Mizuho GN18-5  
 Watanabe, Rise **GN8-2-3**  
 Watanabe, Saaya GN12-2-4  
 Willis, Eileen GN9-5-4

**Y**

Yabu, Ken-Ichiro GN11-2-6  
 Yamada, Yuko GN5-3  
 Yamaguchi, Shinobu GN6-1-2,  
     GN7-5, **GN9-4-6**  
 Yamamoto, Mami **GN9-2-3**  
 Yamamoto, Yuko **S-2**  
 Yamamoto, Yusuke GN9-2-4  
 Yamano, Fumie **GN11-2-4**  
 Yamaoka, Noriko **GN9-1-1**  
 Yamashita, Ruriko GN18-5  
 Yamashita, Tadashi GN13-2  
 Yamazaki, Maho GN1-1-4, **GN7-7**  
 Yano, Tomoko GN18-7  
 Yatsushiro, Rika GN5-5, GN13-1  
 Yokoyama, Tetsuji GN6-1-4  
 Yoshida, Kazuki **GN4-4**  
 Yoshida, Reiko **GN7-2**  
 Yoshikoshi, Saori **GN16-2**  
 Yoshioka-Maeda, Kyoko  
     GN8-2-1, **Q-4E**  
 Yu, Jung-Ok **GN5-4**

## 次回開催告知

# 第11回 日本公衆衛生看護学会学術集会

「ポストコロナ社会における公衆衛生看護への期待」  
— 新たなコミュニティケアシステムの創出 —



場所：仙台国際センター および Web  
(検討中)



仙台国際センター 展示棟

期間：2022年12月17日-18日

学術集会会長 安齋由貴子

(宮城大学看護学群看護学類)

学術集会副会長 只野 里子

(宮城県保健福祉部/全国保健師長会宮城県支部)



これまでに培ってきた公衆衛生看護におけるシステム構築を、  
今後のポストコロナ社会にどのように活かすことができるのか

**宮城県**で皆様と語り合ひましょう！

## 次回開催告知

# 7th International Conference of Global Network of Public Health Nursing July 2025 in Calgary, Alberta, Canada

## Building Resilience and Innovative Solutions ～Amplifying Impact and Advancing Positive Global Public Health Change～

レジリエンスの向上と革新的なソリューション  
～インパクトを増幅し、世界の公衆衛生にポジティブな変化をもたらす～

ロッキー  
山脈

バン  
グラーデッシュ

Co-chairs :  
Dr. Aliyah Dosani  
Dr. Zahra Shajani

焦点となる分野 :

- グローバル・ヘルス・セキュリティに取り組むためのパートナーシップの活用
- COVID-19後の健康的な回復
- 公衆衛生の科学とデータに関するグローバルなリーダーシップ
- 気候と環境変化

この他にも興味深い分野がたくさんあります。近日中にお知らせします！

Aliyahは正看護師で、公衆衛生学の修士号と人口公衆衛生の博士号を持っています。現在、アルバータ州カルガリーにあるマウント・ロイヤル大学の看護・助産学部で教授を務めています。彼女の研究プログラムは、母体、新生児、子供の健康に焦点を当てており、コミュニティベースのプログラムや介入を通じて、リスクのある集団に働きかけています。

Zahraは正看護師で、公衆衛生学修士と看護教育学博士の資格を持っています。現在、カルガリー大学看護学部の実務教育担当副学部長を務めています。カルガリー大学看護学部では、リーダーシップ、イノベーション、そしてレジリエンスを通じて、優れた看護を提供することをビジョンとしています。私の役割は、地域、国、そしてグローバルなコミュニティとの関わりです。

# 公衆衛生看護学テキストシリーズ（全4巻）

理論と実践の融合をめざした好評シリーズ、今春改訂！！

## ① 公衆衛生看護学原論 第2版

◆麻原きよみ 責任編集  
◆B5判 180頁 定価3,080円(税10%) ISBN978-4-263-23804-2

## ② 公衆衛生看護の方法と技術 第2版

◆佐伯和子 責任編集  
◆B5判 312頁(予定) 予価4,400円(税10%)

## ③ 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版

◆岡本玲子 責任編集  
◆B5判 230頁(予定) 予価3,850円(税10%)

## ④ 公衆衛生看護活動Ⅱ 2022年版

◆荒木田美香子 責任編集  
◆B5判 308頁(予定) 予価4,400円(税10%)



100th 医歯薬出版株式会社 ☎113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 <https://www.ishiyaku.co.jp/>

保健師活動の  
神髄を伝えつつ  
今日的な課題の  
解決方法を探る

# 地域保健

地域保健は行政保健師をはじめ研究者や学生などに幅広く読まれている専門誌。国の動きを分かりやすく伝えるとともに、生活習慣病対策・母子保健・精神保健・地域包括ケア・地域づくりなど幅広いテーマを取り上げています。常に現場の声を重視し、地域保健に携わる人の「思い」が伝わる誌面づくりを目指しています。



### ■雑誌概要

- ◎ 隔月刊  
年6回(5月号、7月号、9月号、11月号、1月号、3月号)
- ◎ 体裁  
B5判、本文96頁+表紙4頁(総100頁)、A3製本
- ◎ 定価  
1,507円(税込)
- ◎ 年間購読  
《公費前納および個人》8,137円(税込) /  
《公費後納》9,042円(税込)

### 11月号テーマ

**特集** プレコンセプションケア  
—いのちを大切に—する教育

**【座談会】**  
保健活動におけるデータとエビデンス  
—EBPMとデジタル・トランスフォー  
メーションの時代に

9 月 号  
貧困家庭の子どもへ必要な  
健康支援

### バックナンバーテーマ

7月号  
生きづらさを抱える女性たちの  
支援をどうするか  
—ウィズコロナ・ポストコロナの  
地域の課題

5月号  
保健師人材育成のいま、  
そしてこれから

(株)東京法規出版 地域保健

ホームページ <https://www.chiikihoken.net/>

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-22

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385

# セルフ・ネグレクトの アセスメントとケア

ツールを活用したゴミ屋敷・支援拒否・8050問題への対応



- 岸 恵美子=編著
  - 定価 3,520 円 (税込)
  - B5 判・340 頁 2021 年 6 月発行
- ISBN978-4-8058-8331-0



試し読み  
できます!

セルフ・ネグレクト事例を早期に発見し支援するための“アセスメントツール”と“支援ツール”を紹介。実践事例も交え、ツールの活用法と支援の展開法を丁寧に解説する。地域で高齢者や8050問題のある家庭に関わる保健師・訪問看護師等必読。

## 2021年秋冬 刊行予定のご案内

2021年12月刊行予定

看護判断のための気づきとアセスメントシリーズ

### 地域・在宅看護 (仮称)

●岸恵美子、大木幸子=編著 ●予価 3,520 円 (税込) B5 判・約 300 頁

これまでの基礎教育で十分でなかった生活者の健康と生活環境についてアセスメントの考え方と方法を取りあげる。

2021年10月刊行予定

### 公衆衛生看護学 第3版 (仮称)

公衆衛生を基盤にした地域・在宅看護論

●上野昌江、和泉京子=編集 ●予価 4,180 円 (税込) B5 判・約 600 頁

2022 年度から始まる新カリキュラムに対応。地域で活躍できる看護職の育成に必要な内容を盛り込んだ。新科目「地域・在宅看護論」で活用できる。

2021年11月刊行予定

### 地域・在宅看護実習 ハンドブック (仮称)

●尾崎章子=編集 ●予価 2,200 円 (税込) B5 判・約 160 頁

2022 年度から始まる新カリキュラムに対応。実習に臨む際におさえておくポイントや心構えなどを紹介する。

# 保健師 ジャーナル

のご案内

確かな情報と  
具体的な実践を  
ビジュアルに紹介し、  
保健師の「いま」と  
「これから」を伝える

- 特集は、実践・研究・公衆衛生の各領域からなる編集委員会  
会で吟味したテーマを、保健師目線で構成して解説。
- 連載では、現場の活動に「いま」役立つ情報だけでなく、視  
点を広げて考えを深め、保健師としての成長につながる情報  
も提供します。
- 全ページカラーにより、誌面デザインでも本文・資料・画像  
の見やすさを追求し、読者のニーズや快適さに応えることを  
目指します。
- 雑誌のWebサイトでは写真や動画などの追加情報も掲載。  
電子版なら便利な検索機能で保健師活動のデータベース代  
わりにも使えます。



詳しくはこちら



◎2022年より隔月刊

通常号定価:1,760円(税込)

◎2022年年間購読料

冊子または電子版:10,032円(税込)

冊子+電子版:13,332円(税込)

★お得な年間購読をお勧めします!

- 1冊づつ購入するよりお得
- 電子版なら2000年からのバックナンバーが読み放題
- 送料無料
- 医学書院が発行する『週刊医学界新聞』(看護版)を  
無料でお届け



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>  
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

# これからの保健医療福祉行政論 第3版 地域づくりを推進する保健師活動(仮)

星旦二・麻原きよみ 編 ●B5判 頁数未定 定価未定 **2021年12月刊行予定**

2022年度新カリキュラムに基づく改訂版  
政策形成のプロセスと方法、法や制度を活用して保健師が推進する  
「地域づくり」について実践的に学べる事例や演習も掲載

- 【主な内容(仮)】
- 第I章 保健医療福祉行政の法的基盤とその目標  
保健医療福祉行政の法的基盤 / 保健医療福祉行政の目標と理念
  - 第II章 保健医療福祉の地域づくりを推進する行政のしくみと機能  
保健医療福祉活動を推進する行政のしくみと機能 / 保健医療福祉行政の歴史と変遷 / 保健医療福祉  
財政のしくみ / 公衆衛生行政のしくみと機能 / 地域保健の機能 / 保健医療福祉の計画・実施・評価
  - 第III章 保健医療福祉行政と保健師の地域づくり  
公衆衛生の専門職としての保健師 / 保健師の活動の目的、役割と機能 / 保健師の活動と地域づくり
  - 第IV章 保健師が担う政策形成のプロセスと方法  
行政組織の特徴と意思決定過程 / 政策のためのPDCAサイクル
  - 第V章 国際保健と保健師活動  
国際保健の歩み / 国際連合関連機関による国際保健活動 / 理念の変遷 / 保健医療分野の国際協力
  - 第VI章 保健医療福祉の地域づくりを推進する保健師活動・事例を活用した演習  
障がい者支援とネットワークづくり / 生活保護受給者・家族への健康管理支援事業の取り組み /  
ヘルスプロモーションの理念に基づく健康な地域づくり / 事例を活用した演習 ※2021年9月時点での情報です



日本看護協会出版会

〒112-0014 東京都文京区関口2-3-1  
(営業部) TEL.03-5319-8018 FAX.03-5319-7206

<https://www.jnpsc.co.jp>

【コールセンター TEL.0436-23-3271】  
【ご注文に関するお問い合わせ FAX.0436-23-3272】

健康づくりを担う全ての方々必携の専門週刊誌

## 週刊保健衛生ニュース

昭和53年創刊、40年以上にわたって関係者に支持される実績と信頼性を誇ります！

保健・医療・福祉関係者相互のパイプ役として、健康づくりの第一線で活躍されている全国の保健師をはじめ、市町村等の医療保険者、研究機関、健診実施機関、学校・教育機関等の皆様に幅広いご支持をいただいている雑誌です。

国と地方自治体の健康づくりを中心に、日頃の業務に必要な細かな情報から制度改正など大きな流れまで、専門誌ならではの情報を幅広くフォローし、通知、資料、解説なども豊富に掲載した貴重な情報源として皆様のお役に立ちます。

★ホームページで最新号の目次をチェックできます！

### ご購入のお申し込み

ご購入のお申し込みは下記ホームページの「ご購入のお問合せ」にお名前、E-mailアドレス等をご入力の上、送信していただければお申込に必要なフォームをE-mailにて返信させていただきます。  
ホームページをご覧になれない場合は、FAXにてお申込用紙を送らせていただきます。E-mailかFAXでお問い合わせください。

ホームページ <http://www.shahojitumu.co.jp>

全国の市町村、保健所をはじめ実務担当者に幅広く読まれている専門誌です！

個人購読も可能です。ぜひ、日頃のお仕事に役立て下さい！

年間購読料 (令和4年度価格 / 送料・税込)  
¥35,400- (後払・定価)  
¥31,500- (前払・割引価格)  
毎週月曜日発行 / B5判・40~64頁

※書店では販売しておりません。当社直販とさせていただきます。  
※ご購入は毎年自動更新とさせていただきます。  
※ご購入の中止、お届先の変更の際はご連絡をいただく必要があります。

(有) 社会保険実務研究所

E-mail [info@shahojitumu.co.jp](mailto:info@shahojitumu.co.jp) FAX 03-3253-7836

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-32 NSビル6階

## 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会

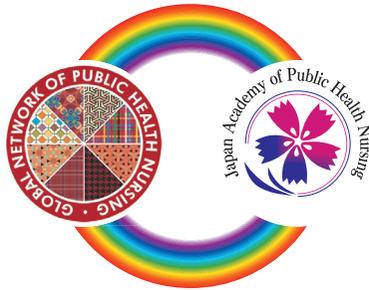
2021年12月発行

学術集会事務局

大阪大学大学院 公衆衛生看護学教室

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7

E-Mail : [phn10j6g@sahs.med.osaka-u.ac.jp](mailto:phn10j6g@sahs.med.osaka-u.ac.jp)



## 学術集会事務局/Contact Us

第10回JNPHN・第6回GNPHN 事務局(大阪大学大学院公衆衛生看護学教室内)

E-mail: [phn10j6g@sahs.med.osaka-u.ac.jp](mailto:phn10j6g@sahs.med.osaka-u.ac.jp)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

OSAKA UNIVERSITY / Osaka University Graduate School of Medicine, Division of Health Sciences  
1-1 Yamadaoka, Suita, Osaka 565-0871 Japan